京城日報
八日 夕刊（土）
發行兼編輯人 熊谷賴一　印刷人 小川三之介
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社

陸軍始め大觀兵式

大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り

代々木練兵場で擧行さる

【東京電話】戰捷の春輝く昭和十三年陸軍始大觀兵式は、畏くも大元帥陛下の親臨を仰ぎ奉り、大本營御制定下の八日午前十時から代々木練兵場で嚴粛に擧行された、冬空晴れわたるこの日秀峰富士の麗姿をくつきりとうつして神宮外苑の翠も一段とさえ、御盛儀拜觀に集ふ國民は寒氣嚴しい早朝から早くも式場外周に十數萬を數へ、隊々將校も純白の「前立て」きらめく例年の金ぴかの正装に代つてカーキ色軍服軍刀の軍装に威儀を正して整列する、今年始めて參加する「鋼鐵の猛牛」戰車九十餘を加へた晴れの參加部隊、近衛師團始め在京各部隊凡そ一萬七千は諸兵指揮官中村孝太郎中將指揮のもとに練兵場東側に歩、工、電信、戰車、野重、野砲、騎兵、輜重兵、自動車部隊の順に堂々の威容を張つて整列、畏くも事變に大御心を寄せ給ふ 天皇陛下には本年は特に御通常の御正装を召させられず陸軍様式大元帥御軍装に大勲位及功一級金鵄勲章副章を御佩用、大本營下に自動車による第一略式鹵簿にて平田侍從武官御陪乘、松平宮相 百武侍從長以下供奉申上げ午前九時十分宮城御出門、嚠喨とひびきわたる「君が代」のラツパ吹奏、諸員最敬禮裡に同十時式場御着 便殿にて御先着の各皇族 王公族殿下と御對顔の後御愛馬「白雪」に召され、四手井侍從武官の御先導にて悠然と靡く「天皇旗」を御先頭に各宮殿下中村諸兵指揮官、杉山陸相、畑教育總監、宇佐美侍從武官長以下諸將星 外國武官などを從へさせられ閲兵を行はせ給ひ廣大なる式場を御一巡 次いで分列式御親閲の御位置に駒をとゞめさせ給ふ、仰げば御英姿一段颯爽と拜せられる、寔に畏き極みである、かくて午前十時三十分過ぎ中村諸兵指揮官の號令指揮刀一閃すれば陸軍戸山學校の奏でる勇壯な「分列行進曲」に乘つて皇軍各精鋭は堂々たる分列に入る、軍靴のひびき、銃劍のひらめき、いよいよ壯重を加ふる頃東南方凡そ六百米の高度に堀丈夫中將の指揮する陸の荒鷲百八十機 佐々大佐指揮の第一、寺本少將指揮の第二、安倍少將指揮の第三、小磯大佐指揮の第四、長嶺少將指揮の第五各飛行隊の精鋭が爆音轟々として銀翼を空一杯に張つて勇姿を現はし敬意を表す、折から地上には徒歩部隊の行進に次いで五十餘の戰車が地軸も裂けよとばかり轟々たる響きをたてて猛然驀進する、かくて世界に誇る皇軍の勇壯なる行進は隙もなく繰展げれば、式場を埋める十數萬の拜觀者は只々感激に醉ふ、同十一時二十三分分列式を終了 大元帥陛下には 天機いとく御麗しく諸員最敬禮裡に同十一時二十五分式場發御、宮城に還幸あらせられた、かくて軍國の春を飾る莊嚴雄大な陸軍始觀兵式は滯りなく終了した

休會明け議會　二十二日再開

【東京電話】年末年始のため休會中の議會は例年一月廿一日再開されることになつてゐるが衆議院では同日は本會議定例日たる火木土でないため翌廿二日に再開することになつた、從つて貴族院でもこれに順應して廿一日は議事を開かず二十二日午前十時本會議を開き劈頭近衛首相、廣田外相の施政、外交演説、軍部兩大臣の戰況經過の報告が行はれることとなつてゐる

現下の非常時局に對應する

實行案の至急立案を命ず

南總督けふ各局課長を召集

時局對應委員會を組織

南總督は事變發生以來機會ある毎に事變の長引きに對する覺悟を朝鮮二千三百萬官民に求めて來た、これは抽象的なものであつたに過ぎなかつたが、愈よこれを具體的に指示すべく研究を重ねた結果、八日午前九時半から本府各局部課長を第三會議室に召集臨時局課長會議を開催し、如何なる方策を執るべきかに就いて具體案を示して指示すると共に、各局課に對してその實行案の作成を至急に立案することを命じた、即ち對内的には如何にすべきか、對外的には如何にすべきかの二大項目を掲げ、これに五大政綱を織込み現下の非常時局に對應せんとするもので、更にこれを統一するために軍官民を以つてする調査審議のため時局對應委員會を組織し各局課より提案された實行案を愼重審議する機關とするものでい遲くも二月末までには決定を見る筈である

近衛内閣の根本國策

内容は綜合的國力充實計畫

將來に寄與する所大

【東京電話】近衛内閣が企圖しつゝある根本國策とは支那事變の進展に伴ひ今後數年間に亘り帝國が直面すべき各般の事態が相當困難な事が見透されるに至つたので、これに對處すべき綜合的國力充實計畫を内容とするもので、さきに組閣當初闡明した財經三原則は主として國際收支均衡を目的としたものであつたが一歩を進めて數年後において消耗國力を復元するに止まらず更に國力を飛躍的に充實整備せんとする劃期的政策である、即ちこれは陸軍の國防充實六ケ年計畫並に滿洲産業開發五ケ年計畫の完了年度たる昭和十六年末を目安とし、産業經濟の根本策を樹立し各種の復元充實を裏付ける唯一無二の方策として案出されたものである、從つて同政策は重要軍需工業の充實計畫を具體的に指摘してゐるのを筆頭に、これに伴ふ物的人的資源の確保擴充を各方面とも根本的に計畫してをり例へば人的資源は事變後の復員計畫並に學制改革による國民智識の向上を指摘し、更にこれを補強するため國民生活の不安除去にまで論及してゐる、政策は以上の趣旨、凡そ七、八項目を要約し文章を以て發表したもので、從來の各内閣の政策政綱の如く羅列的に政策を羅列したものに比し頗る異色を示してゐる、しかして近衛首相は以上の政策をもつて今後數年間に亘つて殆ど變更を許さざる帝國の根本的且つ不動の指針とし、その確立に政府は重大決意をもつて臨んでゐるので、その成果は帝國の將來に寄與する所頗る大なるものあり として注目されてゐる

根本國策案

企畫院では草案成る

けふ參與會議に附議

【東京電話】政府は七日の閣議において今後の時局に對處すべき根本政策につき企畫院に對し正式に調査立案方を命ずる所あつたが、企畫院では臨總裁指揮の下に豫ねてより本問題に關し研究を進め、既に國策案の草案作成を了して居り八日企畫院で開催される參與會議（各省事務次官）に附議し、脱稿を待つて成るべく最近の閣議に諮り引續き數次の閣議において愼重審議の上、休會明け議會までに正式に現内閣の對時局根本國策として採擇し、之を中外に宣明して時局の將來に照らし國家的炬火として之を標揭し、近衛内閣初の通常議會に臨むこととなつた

伊の大海軍建設計畫

地中海に覇を稱へんとする

多年の希望愈よ實現

【ローマ七日同盟】英米二大海軍國が相次いで大海軍建設に乘出さんとしてゐる折柄、イタリー政府は七日今年度以降において三萬五千屯級新鋭主力艦二隻を含む大海軍建設計畫を正式に發表した、その内容は

ムツソリーニ首相は今回三萬五千屯級新鋭主力艦二隻、エックス・ブレーナー型驅逐艦十二隻及潜水艦多數の建造を命令した

新主力艦二隻は夫々ローマ及インペリアルと命名されることになつてゐる、新海軍建設計畫は伊國米ヴエネチヤ官において行はれた陸海軍首腦部數次に亘る會合の結果決定を見たもので、新艦艇の建造は直ちに一齊に着手される筈である、建造に當ることとなつた全國各地の海軍造船所には既にムツソリーニ首相から夫々電報を以て工事着手の命令が下つた

この計畫が完成した曉にはイタリー海軍は優勢な大艦隊を擁してフランス海軍を斷然壓倒するのは勿論、極東方面と地中海との艦隊配置に惱んでゐるイギリスにも少な……

ヒトラー總統近く

伊太利を訪問

【ベルリン七日同盟】ヒトラー總統は去る九月ムツソリーニ首相のドイツ訪問に答へ近くイタリーを訪問するに決定、大體五月九日イタリー帝國宣言第二周年記念日を期してローマを訪問することゝなつた、イタリー政府側は既にチヤノ外相を歡迎委員長に推し、ヒトラー總統歡迎に萬全を盡してゐるが、ヒトラー總統はローマの外更にナポリ、フイデンツエをも訪問する豫定と傳へられる

ヒトラー總統

隴海線方面の敵

動搖の色見ゆ

我軍の挾擊に狼狽

【上海七日同盟】津浦線北部戰線を南に下る福澤部隊のため隴海線方面の敵戰線は早くも動搖の色を見せて居り漢口來電によれば我が軍の濟南攻略により隴海線一帶の支那軍の狼狽甚だしく、殊に津浦線南北より挾擊の形となつた爲連雲港より徐州に至る隴海線沿線の堅固な陣地も最早や軍事的價値を失つて支へ切れずと見てか、七日朝から連雲港の各施設を爆破し始め附近の支那軍は徐州さして集結してゐるとのことである、更にまた徐州が陷落した場合は遙西方に退却して鄭州に集結し、京漢線の支軍と合し鄭州附近の既設陣地に據つて必死の防戰を試みる計畫だといはれてゐる

韓復榘を懲戒

【上海七日同盟】漢口來電によれば山東を追ひまくられた韓復榘軍が大本營の命令に反し戰はずして濟南から敗退したことは延いて隴海線方面の守りを失ふに至らしめたものとして、漢口支那軍當局は俄然韓復榘の態度を非難して居り近く正式に懲戒處分に附すとのことである

敵機又蕪湖に飛來

【上海七日同盟】七日午前十一時頃敵の爆擊機隊は再度蕪湖の我が軍に對し小癪にも空襲を敢行し來つた、投下爆彈は何れも揚子江上又は蕪湖郊外の水田中に落下し、我が軍の飛行機に追ひまくられ目的を達せずほうほうの態で逃げ去つた、我が軍の損害は皆無である

帝國の斷乎たる決意に

蔣は極度に怯ゆ

今後の成行は微妙！

蔣介石

【香港七日同盟】第二期抗戰準備を急いでゐる蔣介石は國民政府の改組において行政院長に孔祥熙を、副院長に張群を据ゑ彼は軍事獨裁によつて抗戰結束を圖る一方、對外的には英米の援助希望を捨てず香港、漢口を最後の足場として躍起となつてゐるが、帝國政府の斷乎たる支那膺懲決意に對しては今更の如く愕然たる色掩ふべくもなく非常に苦慮してゐる、しかし蔣介石は今日となつては過般の抗戰繼續聲明を覆すことも成らず、專ら自家擁護のうちに背後に迫る抗日赤色の魔影に怯える外なく、この結果は蘇聯の援助は益々積極的になるだらうが、果して彼等の目論む如く戰局が自己に有利に展開するや否やは大いに疑問とされ、廣東軍の内部にも平和、强硬の兩論が行はれこれが影響は蔣政權の内部にも反映して今後の成行は頗る微妙なるものが見られる

厚生省首腦部

陣容内定す

【東京電話】厚生省首腦部の陣容は就任局々長の人選を行ひ前と して八日左の如く内定を見たので十日の臨時閣議において正式に決定上奏御裁可を得て十一日厚生省官制の公布と同時に發令する

厚生大臣（兼任）　木戸幸一侯
厚生次官（前内務次官）　廣瀨久忠
體力局長（石川縣知事）　兒玉政介
衛生局長（茨城縣知事）　林信夫
豫防局長（衛生局課長）　高野六郎
社會局長（社會局社會部長）　山崎巖
勞働局長（社會局勞働部長）　成田一郎
保險院長官（遞信省郵務局長）　進藤誠一
總務局長（法制局參事官）　佐藤基
簡易保險局長（遞信省事務局長）　藤川靖
社會保險局長（社會局保險部長）　清水玄

【赤外線】

七日の閣議後風見書記官長は守衛に命じて閣議室の前にある閣僚付合室に官邸中にあるソフアーや大椅子を運び出してゐる、書記官が何をするのですかと訊いて聞けば「これからこの部屋を閣議室にするんだ」國策を議するにはどうしても膝を突き合せてやらなくては名案が出ぬ、テーブルを隔てゝ座つてゐたんぢや話が纏まらない、今までの閣議室は事務閣議室で、これが本當の國策閣議室だ」とニヤリ（寫眞は風見書記官長）

×

地中海に覇を稱へんとするイタリー海軍多年の夢が實現されるものと見られてゐる

大野政務總監

二十日東上

大野政務總監は休會明け議會に政府委員として出席のため、來る二十日午前十一時半京城飛行場發旅客機で東上の豫定

京城鐵道事務所長更迭

かねて辭表を提出してゐた京城鐵道局京城鐵道事務所長石崎頼久氏（勅任）は一兩日中に依願免官となり後任には十二月十七日在外研究より歸任した參事田邊多聞氏が拔擢されることに決定した

新京醫學校昇格

【新京七日同盟】新學制の實施に伴ひ昨年五月開校した新京醫學校は大學令により本年度に新京醫科大學として昇格、新校舍新築費として三十三萬九千二百圓が計上されたが二ケ年繼續事業として明年末完成のはず

天地玄黃

近衞首相いよいよ根本國策樹立を發議。待つてゐました

×

中華民國臨時政府の治安回復策土建設の諸政策着々實行に移さる。見よ新支那の黎明

×

中學生の制服が國防色となる精神の國防色は實行に於て發揮せよ

×

世界の眼を眩いて、英聯アラビア士人部落を非人道的爆擊。解らんだらうと思つてやつたとすればなほ怪しからぬ行動

×

孔子の後裔漢口に入る。蔣介石以下芝居掛りの大歡迎。孔子はそんな興行師を一番憎んだはず

+

聖戰第二年の春　輝く軍國大繪卷
『戰勝日本』の榮光に映ゆる　龍山原頭の觀兵式

燦爛の陽ひらめく銃光、遠く支那全土に響けとばかり鳴る軍靴―零下十七度の寒氣に凍る龍山練兵場原頭に聖戰第二年の春を飾る正義日本を表徴する朝鮮軍在城部隊の陸軍始觀兵式は八日盛大に擧行された　午前十一時北支聖戰に奮戰する支軍を凱旋とさせた在城各部隊は陸軍大將の軍装凛々しき南總督を初め松澤外務局長、佐伯京城府尹、その他中小學生、府民等約五十の銃後の熱誠を披瀝した觀覽者、凝視の中に、歩兵第七十八聯隊を先頭に同七十九聯隊、騎兵第廿八、工兵第廿、野砲第廿六聯隊及び輜重隊、特科隊、將兵約一萬は場を壓して整列、騎兵指揮官小磯中將の先導で小磯軍司令官は閲兵を從へて馬上豊かに閲兵を終れば勇壯な分列行進喇叭の音と共に步武堂々一大分列行進を展開、小磯軍司令官は馬上より身じろぎもせず擧手の禮を以て閲兵、同三十分軍國日本一巻を繪巻裡に終了した

【上右】勇壯な分列式【下左】颯爽として閲兵する小磯軍司令官

【下】參列の南總督

在城部隊觀兵式

軍國の叔母さん　開城に咲き出た美談

開城府に奉職してゐる金瑠淑さん(廿)は日支事變以來毎日皇軍勇士を驛頭に出迎へ、薄給の中からハンカチ、煙草を買つては勇士に贈り、皇軍將兵は半島婦人の赤誠に心から感激し『軍國の叔母さん』として敬意を拂つてゐるが、この麗しい行爲がこの程京畿道より本府に報告され、本府の人々を感激させてゐる

愛國鐵道號に　戰線から献金

支那事變勃發と共に應召、北支に轉戰中の鐵道局京城工場沼佐吉美氏は戰地で十月五日付の『半島鐵道二萬七千の從事員が打つて一丸となり月々の給料から愛國機鐵道號の献納運動起る』の京城日報の記事を讀み『自分はいま戰地で轉戰してゐるが鐵道に職を奉ずる一員である遲くれて相濟まぬが給料から金五圓を送る』とて工場長宛八日軍事郵便で送金して來たので吉田局長を初めこの美擧に感激、愛國機鐵道號の献納金に加へることになつた

女子醫專　新學期から開校

故山梨金鐘明氏未亡人朴貞子さんが故人の遺言により七十萬圓を京城女子醫學專門學校設立費として寄附したが、その後女子醫學講習所長金鮮道氏等の熱誠により、よく具體案を得たので豫科學生六十名を募集して新年度四月より開校することゝなつた　校舍は取敢へず總督府内におき十四年度より新校舍に移轉することになつてゐる

鮮展の機構改善　今秋から面目を一新

半島の美術工藝界の最高峰をゆく鮮展は、從來本府學務局の主管であつたが、事務分掌規程の改正によつて社會教育課に移管されることになつた、これは社會教化の見地から精神的にも及ぼす影響から發したもので、この目的達成のため鮮展の機構に根本的改善を加へることになり、各方面の意見を聽取してゐるが、今秋の鮮展は面目を一新し半島美術工藝の價値を高めて雄々しく中央美術界に呼びかけることになるであらう

皇國臣民の誓詞は　國語で朗唱のこと

全鮮の隅々まで行き渡つた「皇國臣民の誓詞」は特に民間諸團體農村振興部落などにも徹底して朗唱されてゐるが、中には誓詞を朝鮮語に飜譯して配付してゐる向もあるので總督府では各道に對し『誓詞は國語を以て朗唱されて初めて意義あるものであつて、これに鮮語を以て解說するは差支へないが鮮語で朗唱することは差控へ必ず國語で朗唱せられたき』旨の通牒を發した

火藥講習會　警務局が開く

昭和十三年には本府の産金獎勵五ヶ年計畫を始め各地に土木事業が起され、鑛山及び工事用に火藥が大量に使用される見込みであるが、當局の免許を得てゐる火藥取扱者は全鮮で僅かに二百十六名(警務局調査)これがため各鑛山でも火藥の知識のある技術者に不足してゐる事實に鑑み、本府警務局では來る二月一日から三月二日まで京城弘濟町本府警務局發破研究所で火藥講習會を開き、技術者の養成に乘り出すことになつた　講習會出席希望者は來る一月十五日午前十時まで最寄警察署に出頭して、受講詮衡試驗を受け、合格者に對して、本府警務局の安藤技師が講師となつて懇切に火藥取扱を指導し、講習を終了したものに初めての試みとして甲種火藥主任免狀を交付することになつてゐる

崩れた三寒四溫　極寒地獄出現す
各方面に異變頻り

暖かい元旦の氣溫が零下五度で京城人士が感謝したのも無理ないが二日以來の溫度表は零下一三度三、零下一四度三、零下一六度六、零下一五度四、零下一三度、零下一六度、零下一七度八で遂に三寒四溫の定石を破つて半島極寒地獄に入つた、寒さの最低は昭和二年の大寒日が二三度一、同三年正月五日の二三度二の記錄的寒さには及ばないが連續的の寒さには皆オンドルに籠城したりストーブに噛りつく始末で結氷、斷水、凍死と極寒期の景物を道づれに寒さはまだ〳〵續く模樣だと京城測候所の御宣託

七年振の猛寒　京城は零下十七度七

【仁川電話】八日午後二時、仁川觀測所の話

『依然、西高東低の型式です、江戸にも一寸した高氣壓がうろついてゐます、二日以來京城は零下十度以下で一寸もゆるまず、高氣壓の特徴である三寒四溫は二日以來すつかり破れてゐます、この寒さは二、三日は續きませう、八日午前六時京城では零下十七度七で昭和六年一月十日の零下二十度につぐ寒さで、昨年の一月八日零下九度三に比ぶれば八度四も低く、また京城の一月平均溫度零下九度四に比ぶれば八度三も低い』

なほ八日午前六時現在の鮮内各地の氣溫左の通り(何れも零下)

中江鎭二八▲新義州二二▲平壤二〇▲仁川一五▲京城一七・七▲全州一四▲木浦九▲濟州島二▲釜山一〇▲蔚山六▲大邱一三▲秋風嶺一五▲江陵一四▲元山一五

北支の寒さ　でも天津は案外暖い

お〻寒い、ストーブが凍つてしまひさうだ……それにつけても想ひ出されるのは北支の空、そして〇〇部隊のこと、京城測候所に聞いてみると『八日午前六時天津では零下十三度、松花江は零下十七度同は零下二十三度、しかし北支一帶は日本晴れ』とある

時ならぬ水飢饉　水道課も家庭も大弱り

數年ぶりの猛烈な寒氣のために京城府内の水道栓は殆ど軒並みにパイプの破裂や凍結のため故障續出で各家庭では隣家に貰ひ水に行くなど時ならぬ水飢饉に大恐慌を來し京城府水道課には朝來苦情が殺到してゐる、府でも特に工事人夫を倍加し約二百數十人を動員して故障個所の修繕に晝夜兼行だが、何しろ七日だけで四百六十五ヶ所の故障で水銀零下十七度七を示した八日には午前中だけでも五百ヶ所を越え中でも高臺の大和町一帶から水道町方面が一番酷く、この分では府内三萬の水道栓が殆ど全部故障を起したといふ昭和十一年一月に次ぐ水道異變を起しさうだ

不凍裝置が不完全　水道當局の話

これについて府水道課の木代工事係長は修繕申込み電話の應接や指圖に忙殺されながら語る

『今冬に入つて七日までに一番故障の多かつたのは十二月四日の五百八十四ヶ所、新年になつては四日の五百八十四ヶ所で八日はこれを僅かに越してゐます、原因は不凍裝置の排水パイプの不完全によるもので、昨年新しく考案された改良水栓を使用してゐる向は成績がいゝのですが此取換へには個人負擔で約十五圓程かゝるため經費の點で未だ一般に用ゐられてゐません、府としては戸外にあつて最も故障の起り易い共同栓だけでも早くこれに改め度いとは思つてゐるのですが……故障の時は熱湯を水栓に注げばすぐ直る時もありますがさうでなければ必ず水道番號で水道課或ひは永樂町、龍山出張所に申込んで頂き度い、氷結を防ぐのは一晩中水道の栓を少し捻つてポタ〳〵落ちる程度に水を出して置くと鐵管内の水が動いて氷結を防ぐし、また鐵管を溫める方法もあります』

鎭南浦の結氷近し　一兩日の運命

朝鮮への入電によれば、ここ四五日來の酷寒のため鎭南浦港の結氷は俄に甚しくなり、船舶の航行に危險を感じ始めたが未だ船舶は出入してゐる、しかしこの寒氣が更に一兩日續けば完全に結氷するものと觀測されてゐる

江華島氷攻め
一昨年の慘事の再現かと　全島民は戰々兢々

二日以來急降下した氣溫で江華島一帶はまたも氷塊攻めに遭ひ、六日からは西島線航路は全く杜絕し同島と城關甲串から金浦への航路、黃海延白への渡船も離航を續けてゐる有樣で、この寒さが二三日も續くならものなら同島九萬の住民は氷塊の中に閉ぢこめられるのではないかと、一昨年一月の慘狀を思ひ出して戰々兢々としてゐる旨本日朝京畿道に報告されたので目下對策研究中である

舞台はひろがる　工業朝鮮　中央試驗所の新計畫

(白土)や陶石、長石、粘土、硅石の包藏品及び品質を半島全般に亘つて徹底的に調査し、鮮産陶磁器をして世界に比類なきものにせんと意氣込んでゐる
◇染織部の計畫は纖維國策の肚勢に鑑みステープル・ファイバー綿の利用研究を初め綿絲、絹絲、人造絹絲等を材料とする織物の改良を圖りその成果を全鮮各工場に普及せしめ、更に有色鑛物の色素抽出試驗に全力を注ぐことになつてゐる

大博物館の設計成る　決定は十四日

綜合博物館の設計に就いては昭和十年以來慎重協議を重ね昨春以來設計に取りかゝり、このほど設計を完了したので來る十四日博物館建設委員會で最後の決定を見るはずであるが、これに先立ち十三日午後一時から同幹事會を開催する

牛疫豫防液　滿洲國から注文

滿洲國は國內牛疫豫防のため牛疫豫防液十萬瓦を至急分讓されたいとこのほど本府へ申込みがあつたので本府では直ちに釜山獸疫血清製造所に増製配給の手配をなした

天氣豫報(9日)

京城地方【今晩】晴一時曇【明日】同じ
仁川地方【今晩】北の風晴【明日】北の風晴一時曇寒さは續く
京城濕度(七日)最高零下九度、八日最低零下十七度七正午零下十二度六

差當り役馬を殖す　本府の馬產計畫に呼應する　京畿道の獎勵方策

今次事變によつて鮮產軍馬の重要性が一層深く認識されたので、京畿道では本府の馬產計畫にタイアップして新春から道內の馬事獎勵に積極的に乘出す事になつた、現在京畿道內には產馬事業といふものはなく役馬は相當多數あるがこれが良否は鮮牛、物資の運搬等產業上に及ぼす影響が少くなく且つ有事の際は軍事資源として緊要不可缺の事項であるので京畿道では先づ役馬の頭數增加を第一段とし更に第二段として產馬計畫を立案中であるが、役馬頭數增加のためには取あへず新春から左の諸項を實行に移すことになつた

(1) 役馬の輸送に對しては運賃の補助減免等を計り價格の低下を計る
(2) 役馬生產地との連絡を計り購入の安易を期し且つ指導を加へる
(3) 市街地內に於ける役馬の收容場は適宜の指導助成を加へ共同等により成るべく低廉衛生的ならしめ飼育者の經濟を好轉させる事に努める
(4) 衛生施設の向上を助長し又共濟等の誘導助長に努め損耗を輕減せしむる
(5) 飼養管理の向上と能率增進を計る
(6) 飼育並に使用當事者に對し講話、實地指導等を濃厚に行ふ
(7) 荷馬車の改造、課役及び操御方法の改善適正を期する事
(8) 競馬施行の徹底徹底を助長し且競馬公平なる施行を計り一般民衆の理解による進展を期する
(9) 競馬俱樂部の健全なる發達を促す

宅扱に反對

京畿道局では既報の通り內地に倣つて鐵道小荷物の『宅扱制度』を實施すべく準備を進めてゐるが京城府市町朝鮮運輸同業會では去月十六日緊急役員會を開き協議の結果『宅扱制度』が實施されると現在收入の約八割乃至九割が消滅し非合同運送業は自然消滅の悲運に遭遇し全鮮十五萬の運送業者の死活問題だといふので『宅扱制度』絶對反對の態度を決し全鮮の非合同運送業者に呼びかけて近く府民館に非合同運送業者組合全鮮大會を開いて反對氣勢をあげるべくよりより會合を重ねてゐる　このことを探知した西大門署高等係では萬一を慮つて嚴重警戒中である

銘酒　大正櫻

銘酒　江川の栗饅頭　京城本町二丁目　電話(2)四二一

叺、二人を殺傷　石炭運搬馬車の異變

八日午前八時半ごろ京城府本町四丁目……

京城健兒團

……

八日朝の天氣概況

……

趣味と學藝

—川北面出土—

—川北面神堂里寺址（新羅統一時代）—

記錄映畫論【下】

今村太平

純粹の記錄映畫

純粹の記錄映畫としては『怒濤を蹴つて』が唯一の收穫だつた。これは海軍の援助になるものでイギリス新帝戴冠式に列席した軍艦足柄の渡歐日記である。同じく海軍の援助でできた『海の生命線』や『北進日本』と同樣日本の記錄映畫として非常に優れてゐる。刻々に變つて行く氣候風物がきわめてよく出てゐる。スエズ運河を通るとき、左側は文化的な住宅が並び、綠の木が繁々としげつてゐるのに右側は荒涼たる沙漠に足柄の影がうつる。夕日が沈むころになると足柄の影はえん〳〵數哩の彼方にまでのびてゆくのである。運河ですれちがつたイタリーの驅逐艦がある。みると全員が甲板に出て足柄に敬禮してゐる。かういふ醜惡な時代になんといふ氣持のいゝ親愛だらう

またマルタ島かに上陸したとき軍樂隊が日本の音樂を演奏する町の人々がとりまいてアンコールの拍手がやまない。この美しい情景はまことに印象深い。また足柄が去るとき、キール運河の土堤の上や橋の上でドイツの市民たちがハンケチや手をふり別れを惜む。歩いてゐる人がみんなさうするのだ。このやうな人間同志の美しい情景は、ほとんど高いヒユーマニスチツクな文學のやうに訴へる。內容的な意味で足柄の紀行は意義があつた

短篇では飯田心美の編輯した『小學校の一日』といふ映畫が佳作であつた。かうした短篇文化映畫が餘りに少い。外國の記錄ものではドイツのウフア文化映畫がもつとも啓蒙的である。ニコラス・カウフマン博士編輯の『蟻の王國』を始め『海底の動物』(?)『自然の理法』『池中の驚異』などがある。『蟻の王國』はホルネツトといふ蟻の生活記錄で、その蟻のなかの兵營のやうなしつかりした組織だつた構造や、入口に番兵をおいて不意のちん入者を訊問したり、刺殺したりするところや、幼蟲を工場作業のやうに育てるところなぞ人間を驚かすに十分である。ウフアの學術映畫はまさにフアブルの『昆蟲記』を視覺的に書きかへつゝあるものと考へていいものであらう

◇

『自然の理法』の如きは科學的でしかもきわめて文學的な短篇なのである。野鼠が死ぬと甲蟲が出てきて土の中に埋めてしまふ。木が枯れるとどこからともなく無數の昆蟲が集まつて木質を食べてしまふ。カメラは萬有の生成流轉の一ページを覗いてゐる

『池中の驚異』では顯微鏡寫眞によつて微生物の生活が擴大されてゐるがその神秘な驚異はもはや科學なのか詩なのか判らぬ位である、魚の體の中に巢喰つて血を吸ふ微細な寄生蟲の大寫を見てゐるとだん〳〵大小の觀念がなくなつてしまふ、そしてあらゆる自然界の生の營みが人間社會の生活と著しく似てゐることを知る。學術的な記錄映畫は科學と詩を一緒にしてしまふにちがひない、あらゆる微小な生物がスクリーンでは人間のやうに巨大な表情をもち、劇的になつてくる、對物レンズは、物の中にいろんな性格と局面を發見してゆくのである

長篇記錄映畫としてはウイリー・メルクル一行のナンガパルバツト登攀がある『ヒマラヤに挑戰して』といふ題で上映された、なんの潤飾も修飾もないが、これは隊長メルクルとヴイーラント、ヴエルツエンバツハ及び六人のポーターの犧牲を記錄した、人間と自然の永遠の戰ひを描いた悲壯な敍事詩の一つである。フアンクの山岳映畫のやうに山が誇張されてゐない。山は空にそびえてゐる、だが目に見えない人類の意思は更に高くそびえてゐる、この意思がこの純粹記錄から感じられるのである

◇

この映畫の、ヒマラヤの奧地に出てくる小部落は桃源境もかくやと思はせる、八千メートルの高所を呼吸困難と鬪ひつゝ一歩々々のぼつて行く人々は次の瞬間吹雪のために死んでしまふ、あの征服めざす重い足どりの一歩々々の記錄は象徵的である、嚴格な記錄映畫は最も感傷的で最も思想的だといへるかも知れない、なぜなら思想といふものはたゞ事實の觀察と觀照以外からは生れるものではないからだ。ルツトマンの『鋼鐵交響樂』はリズムの點で、フラハテーの『カラナグ』は印度のヂアングルの記錄の點で共に記憶されていい。けれども『伯林』や『アラン』には劣つてゐた

聲帶故障に福音

聲帶の故障で、聲を失つた人に福音——人工的聲頭で四人の聲の出なくなつた人々が、米國フロリダ州セント・ピータースブルグに集つておしやべりをしたといふ、その裝置は電氣的に振動する一種の笛で、之れを口にくはえて唇と舌とで調節して言葉にするといふのだが細かいことはまだ報告されてゐない、もしこれが聲帶の故障でなく、生來の啞者にも利用されるならば、大した發明たるを失はないだらう

〝北支を描く〟

本社特派員 鶴田吾郎

八達嶺

北京から一時間餘出ると天下の要害南口につく。夫れから次第に山岳地帶を登つて行き居庸關を過ぎて登りつめたところが八達嶺だ

難攻不落と稱してゐた此嶺山も皇軍の進むところ大風一過したるが如く、敵塹も遂に脆く〳〵に何處ともなく、逃げて了つたのだ。

支那事變に特記すべきはなんと云つても南口より八達嶺にかけてゞある。恐らく支那史上之れ程見事に勝敗を決したことはかつてなかつたことだらう。

南口だけでも三年は十分守り得ると豪語してゐたのが僅三晝夜にして踏し入れて了つたのだ。

●神苑寫眞の作成に就いて●

山澤三造

朝鮮神宮奉贊會で御鎭座十周年記念事業の一として十年誌の刊行計畫が進められ其節より記事を河野貞樹氏に、寫眞を私に申し付かつたのは昭和十一年の五月も末の二十日でありました。これが編纂に當つてはひとり過去十年の歷史を認めるばかりでなく、廣く鎭山蒼目、生々發展の姿こそ莊嚴なる御神光の顯現であらねばならぬと云ふ見解から全鮮に亘つて躍進朝鮮の全貌をも採り入れると同時にこれが表現について成可く優雅典雅にして醇化あらしめることに苦心しました

愈々いよ〳〵六月に入り作成に取掛るべく潔齋沐浴謹寫申上げる段取となり神苑大廣場前に立ちました時、目にうつる淸淨莊嚴崇古の念に今更ながら唯々頭垂れるのみで一枚ものとせず約一ケ月間はこれが精想に日時を費し、ひたすら神苑の雰圍氣に浸りました、而してその天神の莊嚴天晶の御稜威の廣大無邊を如何にしてカメラに現はすべきかを隨分苦心もし、研究もさせられました、樣々と惱まされたあげく遂に方法論より表現內容へと勇敢に轉化されて仕舞ひました、勿論當時は餘り一般に行はれてゐない表現法でもあり、且又一歩間違へば技術的にも無理を生じ易い點が多分にあるからであります、申すまでもなく寫眞の善惡は、その取扱ふ光の效果、白と黑、或ひは半調部の陰影がどのくらゐ美しく現はれてゐるかにあるは勿論でありますが、最も大切なことは作者の意圖—作者が何處を狙ひ、どう現はさうとしたかを見極めることが一番大切であるので度々審査に臨みましても私は常にそれを第一條件として今日に至つて居るのであります、卽ちカメラ作品の優劣は萬事この上できまるとさへいつても敢て過言ではなからうと思ひます、こんな見方から私が今度のやうな內容表現にまで轉化せざるを得なかつたのであります、或ひは一部の方々から樣々な御非難を受けるかも知れませんが、私は斯く信ずるがまゝに猛進致しました

私は曾て本紙上で寫眞の眞は眞實であり、且つ又心或ひは神に通じてゐる、故に單に形にのみ囚はれて折角の被寫體のもつ無形な生命の描寫を忘れてはならぬと云ふやうなことを述べたことを記憶してゐます、ところが圖らずも今回の寫眞作成を仰付かつて、神域のもつあの莊嚴さを如何に現はすべきか、更に進んで敬神崇祖の念を表徵するには如何なる仕組にすべきか等について新たなる精想に直面したのであります、而して樣々思ひ惱まされました結果今回の展覽會で發表しましたやうな一部の表現法を選んだのであります

それにつきまして短歌の權威齋藤茂吉氏著『短歌寫生の說』なる發行の中に述べて居られる氏の氣持が偶然とはいへ私の寫眞の作畫的心境とよく似寄つてゐることにより益々意を強くしたのであります。それは餘りにも短歌の場合と寫眞の場合と相通ずる點の多き哉

ところで昨年の四月頃でしたか巴里に於ける萬國博覽會に寫眞壁畫が日本から出品されましたが木村氏一派に依つて類似な表現法で作られてゐるのを見て私かに悅に入つたほどであります。たゞ更にこれを日本精的に取扱つて表裝を試みました、是は私の知る範圍內では朝鮮は勿論內地といへども最初のものではないかと思はれます、そして寫眞がもつと廣い世界にまで進出して社會生活の向上に役立つを得ば幸甚と存じます、最後に印刷中不注意の爲め紛失されたり、或ひは毀損されて役立たなくなつたものもありますので、已むを得ず寄作をも合せ陳列致しましたことは實に遺憾に存じます。何卒出品されましたものが原稿の總てでないことを御斷り致します

寫眞【上】は固形ミルクを積込む【下】は白炭を釜に投げ込む

白炭！ 黑い石炭ばかりが燃料ではありません、これはシカゴで行はれたミルク週間にミルクのエネルギーを示すため石炭の代用に固形ミルクを使用して機關車を運轉したところです、この黑炭ならぬ白炭は燃料としては好成績でしたが、さて實際問題としては食料、經費などの點でどんなものでせうか

不連續線

考へる

研究といふと大袈裟だが、僕は今、こんなことを一生懸命に考へてゐる。

つまり別辭の分類である。人により、商賣により、時によつて、同じ『左樣なら』で濟むことも、いろ〳〵にいひ分けることを敎へてゐるのである。

學友人同士なら『や、失敬』で濟むが、三つか四つの子供と別れる時には『ハイチャイ』といはねばなるまい。

奧樣と奧樣との挨拶の場合には『ぢや、これで失禮させていたゞきますが、ほんとうに、お近いうちに是非、お揃ひでいらしつて下さいますやうに、では、どうもお邪魔いたしまして』と種々として盡きるところがないであらう。藝妓か女給なら『お近いうちにね』と、背中をぽんと一つ叩く。病院だつたら『お大事に』といふに違ひない。

血氣盛りの學生なら、中學生でも女學生でも『あばよ』と手を握つて別れることもある。

先輩や上役には『では失禮いたします。左樣なら。御免下さい』と、同じことを二つも三つも重ねていはねばならぬことがある。

葬儀屋に『毎度ありがたう御座います』が禁句であるは勿論、考へれば考へる程、これだけの研究でも博士になれさうに思はれる。

▽福岡英數學館

講師の優秀、學業の確實と合格率の絕大及び生徒の眞實勤勉なることに定評ある福岡市本拔門、英數學館は一月八日より新學期を開講し、英、數、國、漢、物、化の外今學期は地理の講座を增設する

新映畫の栞

魔獸クリオ 天然色作品

はじめての天然色猛獸映畫、血の爭鬪に狂ふ野獸群の恐怖の戰慄、ジャングルの魔境が總天然色で展開される、ヘンリー・フアーレーズ監督、ウイリアム・グリン撮影、米國デュワールド社作品である（八日から『母の曲』『ニュース・カメラマン戰線』と共に若草封切）

◇擴聲器◇ 一哩以上聞える

米國ニユージャーシー州アトランテツク市で實驗された新しい擴聲器は人間の聲を一哩以上も遠方に傳へ得る程強力なものであるこの擴聲器は特殊な構造と世界で最大の永久磁石を持つてゐるのが作られた動機といふのは、アートランテツク市の海岸と海面の廣大な地域で海難救助に働く人々を統制するためであるが、しかし實驗の成績に鑑み濃霧中の港で船舶の航行を指導したり、またどれほど廣い屋外事業に話すのにも使はれる、また飛行機上から地上に通信する爲にも利用し得るといはれてゐる

木村忠衛 京劇に開演

關東浪曲界一の美聲家木村忠衛一行は八日から四日間京城劇場に開演する、忠衛師の演物（每夜長講二席）は赤城の子守歌、鹽原多助、慶安太平記、河內山、馬占山、淸水次郎長、小金井小次郎、股旅三度笠、若親の母 入場料は一圓、一圓五十錢

創作 律義者（二）

佐藤春夫

と子供に言ふと、子供は急に元氣になつて

『おぢさん、本當。』

と聽いてゐる戰車をつまみ上げるとそれを懷のなかへねぢ込んで彼の方へすり寄つて來た。それにつられて子供の母も、子供の手を引つたまゝ牛嶋の後を追うた。牛嶋はもう驛の出口に立つて圓タクを呼んでゐた。尻ごみする子供や女をもどかしがつて牛嶋は自分で扉をあけて無理に圓タクのなかへ彼等を追ひ込むとそのあとから、車に乘り込んだ。一ぱいに抱かれたばかりであつたらしいおもちやのタンクは車上の子供の懷のなかでまだゼンマイの解けた音を立ててゐた。

『京城の××町へ行つて、安全タクシイでしたね』

『はいさうでした』

『安全タクシイといふのを見つけてくれ給へ』

牛嶋は運轉手に行く先を命じてから腕時計をながめるのであつた。出社の時間に遲れなければいゝがと案じたからである。

『まことに御親切さまに』『とんだお世話さまに』など田舍の女は思ひ出す限りの言葉を列べて感謝の意を傳へようとしてゐた。牛嶋は自分の行く先きの近所だから序に車に乘せて行くだけだからお禮には及ばないと、何度も同じことを繰り返してゐた。

安全はすぐ見つかつた。牛嶋の出社時刻にはまだ十五分位はゆとりがあつた。牛島は眞先きに下りて安全の店に飛び込むと、いきなり、

『こゝに藤田といふ甲府の方の人が勤めて居ますか』

『藤田君、居りますが……』

『今店にゐますか』

『今は宿に歸つてゐますよ。藤田君は通勤でしてね。昨晩は夜稼ぐ番だつたものですから、今朝になつて歸りました。きつと寢てゐるでせう』

『宿はどこだ』

『すぐ近くに二階借をしてゐます』

『そこを敎へてくれないか。召集が來たといふので田舍から女房と子供とが迎へに來てゐるのだ』

『へえ、召集ですか。今度は運轉手が大ぜい呼ばれますからね』

車上の女と子供とは、牛島が何を話し込んでゐるのか、何故父や夫が飛び出して來ないかと氣をもんで車から出て來た。牛島は彼等に事情を說明して置いて、待たせて置いた車に金を拂つてゐる。出社時間は迫つてゐる。電車で行くとすれば乘換へやなどで十分かそこらはかゝるであらう。しまつた今の車はやつぱりも少し待たして置いて、藤田の宿をさがさせて自分の社へもあれで出ればよかつたなに、非常の場合だ。社へも二十分や三十分は遲れて行つても仕方がない。序の事に藤田といふ人の宿までさがして女房や子供を安心させてやらう。こゝでぶつ放してしまつたのでは佛造つて何とやらである。

藤田の女房と子供とは見も知らない人が遠くの停車場から彼等をこゝまでつれて來てくれた親切を安全の主人に對して說明して感謝してゐる。

今晚のラヂオ

六時童話（城）杉江文子▲六時二五分講演（城）肥塚正太▲七時三〇分講演（京）文學博士 大宰施門▲傷病將士慰問の夕▲八時歌謠曲（東）兒玉好雄▲八時一〇分落語（東）春風亭柳橋▲八時二五分義太夫（東）竹本素女▲八時四五分二人漫談（東）丸山章治▲九時五分浪花節（東）筑波盤

國定忠次 (121)

長谷川伸作　岩田専太郎畫

老親（一）

天保七年の秋。

信州からきた旅人が、彫のこときく仁義がすんで茶を振舞はれ、長脇差を忠次に預け、客人待遇を受けるやうになつて二日目に、

『ちよいとお耳を汚します』

『へい。何ですねえ客人』

神崎の友五郎といふ國定身内の一人が、旅人の前へ坐ると、

『つかぬ事を伺ひますが、こちらに長兵衛さんと仰有るお身内さんがおゐでなすつたでせうな』

『長兵衛ですかい』

『たけしの長兵衛さんと聞きました』

『武士の長兵衛ですか、身内ですが、今は旅中ですが』

と、聞いて旅人が急に緊張し、

『矢ッぱりさうでしたか。ゆうべの夢は、にやあ本當だつた』

『客人。親分と仰有るから申しますが、ゆうべ、大層、魘されてゐるでなすつたね』

『さうでしたか。お身内さん、恐れ入りますが親分に、大變なお知らせを致したいと存じますが、お取次いなかでせう』

『へい、承知しました、が、大層とは武士の長兵衛の事ですか』

『さうでご座います』

『長兵衛がどうかしたのですか』

『土に還りました。現にあッしがこの眼で見てきてをります』

『何日？』

『二月前のけふです』

『どこで？』

『上州信州の峠の信州寄りです』

『對手が判つてゐるんでせうね』

『確に存じてをります』

『お待ち下せえ』

友五郎が再びやつて來て、

『客人。親分がお目にかゝりたいと申します』

『左様ですか。伺ひます』

忠次は街道を行く人の姿が見渡せる座敷で、晴れた日の明るい下で旅人を待つてゐた。

『さ、こつちへ來て。敷物をあてゝくれ。客人は遠州の安藏のお身内だね』

『へえ、桁井の御藏にございます』

『樂にしてくれ、此方も[illegible]てゐる。早速だが、今、友五郎が客人の話を取次いできたんだが、家の長兵衛が殺られたさうですね』

『へえ。ゆうべ、長兵衛どんが悲しい顔をして夢枕に立ちまして、あッしに、二度も三度も頭を下げます。けさッからそれを思ひ出して、どうい縁で夢枕に立つたのかと考へまして、もしやこちらさんのお身内ではなからうかと、念のため伺つてみた處、さうだといふご返辭なので、あッしは背負つた重荷を卸した氣がいたしました』

旅人のうちには兇狀持が往々にしてある、さうした男は、妙に何かをみるのたちなりもすれば口走りもする、が、そんな事は、聞いて聞かぬ振りが慣ひになつてゐる。

忠次は今年廿七だが、貫禄を割らずにゐる故か、けふは廿四五にみえる。

『それで、客人。客人は安藏一家の人だから、俺に物を二ツには云はねえね』

『仰有るまでもご座いません』

『武士の長兵衛は二月前のけふ姿をなくされたんだねえ』

『さうでご座います。對手は』

『済まねえ、ちよいと待つてくれ』

忠次は傍にゐる友五郎に佛壇へあかりを入れさせ、起つて行つて線香をあげ、佛前で合掌してゐる姿を、ちッと見て旅人の德藏は太息をついた。

この人は子分を可愛がるんだなあ、と、思つたのである。

座に戻つた忠次が

『話を聞きませう。對手は』

『信州高井郡中野に忠兵衛さんといふ親分がございます、その伜が對手で』

中野は代官の陣屋があつた處で長岡から五里程あり、高梨平とも中野平ともいひ、この邊での殷賑の地である。

『中野、忠兵衛といふと』

『ご陣屋へお出入りで、羽振りの利く人です』

『ふうン。で、伜は』

『原七といひます』

石炭增產方針決定
五箇年一千萬瓲
總督府で具體化に邁進
細目決定は中央と折衝後

內地及び朝鮮の軍需工業、化學工業等は戰時體制下に再編成され擴張につぐに擴張を急いでゐるが、之に伴ひ石炭の需要は急激に膨張しつゝあり、之が增產は刻下の急務とされてゐるが、政府に於ては生產力擴充、石炭增產五ヶ年計畫を樹立すべく檢討をつゞけ、この程に至り五ヶ年後の昭和十七年に七千五百萬瓲を產出すべく方針を決定、これに即應する爲め總督府殖產局では需給推算、其他各種調査を行つた結果現在の年產三百萬瓲を、十七年には一千萬瓲に增產可能の見透しがついたので、この程之を商工省に通達するところがあつた、依つて朝鮮の增產計畫具體化に關する諸問題は今後政府との打合せによつて決定することとなつてゐるが、一千萬瓲增產を目標として資金の調達、坑夫坑木の供給等に關しても着々準備を進める方針の下に總督府當局に邁進することとなつた

坑木豫算削除後の
緊急對策を樹立
輸出抑制間伐材充當

金、石炭の五ヶ年增產計畫に要する坑木需給に就ては本府農林局に於て對策を樹立、十三年度豫算に造林補助三十萬圓、林道開設費の增加十萬圓、計四十萬圓を要求中の處、大藏省で査定の結果削減を見るに至つた、金增產五ヶ年後七十五萬瓲並に石炭增產五ヶ年後一千萬瓲を得るに要する坑木は昭和十七年に於て、現在の需要七十萬尺〆の凡そ四倍以上約二百五十萬尺〆を要するので、農林局では直ちに之が善後策を協議した結果、本年は左の方針で臨むこととなつた

一、十三年度豫算に要求した坑木對策經費は國策遂行上必須のものであるから改めて十四年度豫算に提出する
二、滿洲國輸出は許可制となつてゐるが、十二年には二十萬尺〆の輸出を見てゐるので更に之を抑制する
三、國有林の間伐材を坑木に充當する
四、從來坑木には赤松を使用してゐるが、本年から落葉松をも積極的に使用奬勵する
五、山林會等と連絡、自發的民有林の造成奬勵に努力する

新春初相場豫想
懸賞當籤者決定
應募者三千六百に達す

本社主催新春初相場豫想懸賞募集は、應募者數朝取新株二千百五十六枚、期米一千五百二十一枚計三千六百七十七枚の多數に達したが、適中者は朝取新四十三人仁川期米三月限八人であつた、よつて本社では七日午後四時より貴賓室に於て、本町署督察官立會の下に之が抽籤を行ひた結果、左の諸氏が當籤した

一等 [illegible] 金虎 [illegible]
二等 [illegible] 山島京已 [illegible]
三等 [illegible]

朝米當籤者

一等 [illegible] 郷永信
二等 [illegible] 趙錫 [illegible]
三等 仁川府花町 [illegible] 吳白山　忠南道 [illegible] 郞命根　[illegible] 金田勇一　京城府漢江通り三ノ一〇 菊地靜雄　京城府 [illegible] 町三丁目 [illegible] 村永成一　全北道井州邑 小野山常子

當籤の方へ 府內の方は本社よりの當籤通知書を本社事業部に御持參になれば、直ちに賞品とお引換へします、地方の方は本社よりお送り致します

◇寫眞は本社貴賓室に於ける懸賞抽籤

簡保契約在高

朝鮮簡易保險十二月末現在契約數は內地人卅一萬九千件（月額保險料四十萬二千圓）其の保險金額七千三十七萬五千圓、朝鮮人八十九萬六千七百件（月額保險料八十一萬四千七百圓）其の保險金額一億五千九百廿八萬圓合計百廿一萬一千七百件（月額保險料百二十一萬六千八百圓）之が保險金額二億二千九百六十三萬圓に達し、尚ほ人口千人當契約數は內地人は五百十七件強、朝鮮は四十二件である

全鮮取引所 十二月中の業績

全鮮五米穀取引所の十二月の賣買高は合計五百九十八萬七千六百石にして前年同期に比し二百十七萬八千四百石の激增である（單位百石）

	十二月中	前年同期
朝取	二八、五〇九	一八、七四四
群山	一四、五四六	八、八四三
木浦	四、九五二	二、三五二
大邱	一一、三一六	七、五六四
釜山	五五三	五八九
合計	五九、八七六	三八、〇九二

戰時平時を問はず
大和魂の常用化（二）
京城土木建築業協會長　伊達四雄

[illegible]……が之でありますが、此魂は大戰後と雖も營々として働いて國力を恢復する原動力となつて居るのであります、かくの如く獨逸人は戰時と平時とを問はず、獨逸魂なるものをアラユル場合に發揮して堂々たる獨逸帝國を築き上げましたが、竪子カイゼル、ウイルヘルム二世が功を急ぎ、餘りに調子に乘つてのぼせ上り、遂に老猾なる英吉利の術策に陷りて世界戰爭に突入し、一敗地に塗れ國運を衰運に導いたのでありますが、獨逸國民は毫も意氣阻喪することなく、其の持前の獨逸魂と加ふるに研究的精神を、軍事は勿論、各般の業務に發揮し禍を轉じて福となし、逆境を轉じて順境となすべく、國を擧げて奮鬪して居るのでありまして、獨逸國民の前途には光明が赫々として照り輝いてゐるのであります、我國民も、獨逸國民の如く軍務に服する場合のみでなく、アラユル業務に從事する場合に於ても、常に旺盛なる國家的精神と仕事に對する眞劍なる研究心を發揮して寡兵の實を擧げるに止まらず、して、併せて

富國の實

を擧げ得て、國に健全なる國家を建設することを確信する次第であります、翻つて我朝鮮土木建築業界の現況を檢討して、果して生業報國の信念と仕事に對する眞劍なる研究心とが、遺憾なく發揮せられつゝありや否やの問題に及ぶ時、聊か慊然たらざるを得ないのであります、申す迄もなく我土木建築事業は鐵道の敷設、道路港灣の修築、河川の改修、各種建造物の造營等々殆く各般に亘り產業の開發の上に、文化の進展の上に、國防施設の上に重要なる働きを爲すものでありまして、從つて此れが土木建築業の良否は國運の消長に至大の關係を有し、從つて土木建築業者の作業の善惡は實に重大なる結果を齎すのでありますが、果して多くの從業員は其の業務の重要性に對して、眞の認識と自覺とを持つて働いて居るのでありませうか、聊か疑なきを得ないのであります

國際收支調整の爲め
輸入調査を開始
中小商工業者に協力を

企畫院では國際收支の見透しをつける爲め十三年度の輸入について本格的調査を行ふこととなつたので總督府殖產局に於てもこれが調査を行ふ方針であるが、朝鮮としては直接輸入は僅少で、大體內地經由輸入又は移入に依存してゐる現況にあるところから、直接輸入額の調査は容易なるも經由輸移入は中小商工業者を相手とするものであるから、稅關の徹底的調査によつても何は幾分の調査洩れがあるので殖產局では中小商工業者の協力を求むべく方策を練つてゐる

羅津に特產取引所を
設立運動表面化
田口邑長等上城總督府に陳情
本府は全く白紙の態度

東北滿特產の北鮮流出は逐年旺盛となり羅津港としての羅津の特產物集散は能く轉化を加へ來つゝあるので、かねて地元に於ては羅津港の特產取引所の設立認可方を運動し、過般田口羅津邑長以下同港有力者が來城總督府に對し陳情するなど、この運動は次第に表面化しつゝあるが、總督府としては羅津港の築港が未だ完成せず、又滿鐵並に滿洲國の特產輸送方針が、大連港を主に大豆、豆粕を上場物件とする特產取引所の設立認可を如何なる程度まで重要視するかといふ問題、又羅津に於ける會員組織の取引所（總督府としては取引所行政方針として會員組織制度を第一義としてゐる）を設立するためには未だ有力會員を法定數だけ集めることは困難であるといふ二點から、取引所新設に對しては全然白紙の態度をとつてゐるのでこれが急速なる實現は困難の形勢にある

檀木の輸出 不許可の方針

檀木（ヲノヲレカンバ）輸出に關しては大正十二年以來許可を要することになつてゐるが、昭和十二年府令第百五十三號輸出入品臨時措置法實施の結果、既に許可濟のものも改めて朝鮮總督の許可を必要とすることゝなつた、而して本府では右輸出入品臨時措置法實施期間中は特別の事情ない限り一般の輸出に不許可の方針で臨むこととなり、このほど各道知事各營林署長へ通牒を發した

產金々融
八日細目打合會を開催

東拓、殖銀を通じて貸出す事となつた產金暫定資金の貸出利率、取扱方法其他に關する打合會は八日午後一時から商工獎勵館に於て本府側から穗積殖產局長、石田鑛山課長、山地理財課長、木村鐵山課事務官、東拓から佐藤金融課長、殖銀から野田理事が列席協議を重ねるところがあつた

魚油入札不調

鰮油の一月不定期入札は七日本府で行はれたが、入札者は三井物產のみでこれも入札値安すぎたため不調に終つた、三井物產は輸出向けのための買入れであるため、輸出採算が低下してゐる關係上入札値折合はず結局見送りの態である

鎭南浦港凍結し
西鮮米は仁川へ
鐵道輸送對策に奔走

朝鮮米の本格的內地の移出期となり各移出港は活況を呈してゐるがこの最盛期に入りて西鮮地方唯一の積出港鎭南浦は數日前からの酷寒で港口より附近一帶は完全に結氷し船舶の出入は杜絕したので各船舶業者及び業者は同港に混貨せる米穀及び今後地方より出荷する西鮮米の搬出方法につき、目下總督府農林局及び朝鮮穀物協會等で種々研究中であるが、結局鎭南浦及び西鮮地方一帶の穀物は鐵道便で仁川に廻送し、同港から船便による外に方法はあるまいとされてゐる

鮮銀石家莊 派出所新設

鮮銀では豫ねて北支業務の擴充の必要並に軍方面の要望もあり、石家莊に店舖新設を大藏省に申請中のところ、一月一日付をもつて正式に認可された、これにより同行では一月初より天津支店石家莊派出所として開業、同時に日銀代理業務も行ふ事となつた

〔定款一部變更の件、一、取締役一名、監査役一名增員の件を附議したが取締役には工學博士三浦次郎氏、監査役には松野二平氏が夫々選任された〕

產金暫定資金 先づ中外鑛業へ

產業增產に關する暫定資金は早くも原安三郎氏を社長とする中外鑛業が東拓より百萬圓を借入れに決定した右資金は滿州に於ける乾式製錬所新設に要するものと見られるがこれが暫定產金資金貸出の最初である

東拓監事補選

東拓では來る十一日東拓本社に於て臨時株主總會を開催、桐本監事の逝去並に李範益監事の間島省長轉出に伴ふ監事二名補選の件を附議するが桐本監事の後任は關西側の株主代表となるべく李監事の後任は中樞院參議乃至朝鮮人知事の就任を見る豫定である

協同・脂臨時總會

朝鮮協同油脂では六日午前十一時より本社に於て臨時株主總會を [illegible]

穗落

十二年中の朝鮮對上海貿易は輸出超過七萬三千圓を增加してゐる、事變下にあつてこの報告は力強いではないか
▲―▼
上海も一歩々々明朗化し江南一帶の購買力も恢復して來やうし海運もやがて我が手中のものだ、今年は三井の紅蔘を陣頭に立てて鮮產品の進軍だ
▲―▼
國際收支の見透しをつける爲め殖產局でも輸入調査をやるが、內地經由のものは調査困難だ、經濟の時丈けの本府ちやない、中小商工業者は此際進んで協力すべきだ、此際とは戰時のことなんだ
▲―▼
米價が又騰り出した、今年な上御調節に農林局は汗ダクだ、荒見局長よい時に馬に乘り替へたものだではシヤレにもなるまい

全鮮移出港 在米激增
持越百二十一萬石

全鮮各移出港在米高は（單位石）[illegible]

朝鮮米　一、二四 [illegible]
臺灣米　[illegible]
合計　一、二四 [illegible]

で、同月二十日現在より百七十三石を增加し、前期に比べると四十八萬 [illegible] 十六石の激增を示めし港別は次の通り
▲釜山一八八、〇八 [illegible] ▲馬山 [illegible] ▲仁川二二一、九二 [illegible] ▲群山 [illegible] ▲木浦二三九、七四 [illegible] ▲鎭南浦 [illegible] ▲元山三六、八三一 ▲浦項 [illegible] 四五、五〇二
尙ほ朝鮮米の內譯は籾七十二萬三千四百八十石、玄米四十萬四千百三十三石、白米十一萬九千九百十五石である

株式
主力株は手固く
朝新を買ふ
地合は好調に推移

前場 前日來相場は手固き採み合に推移しつゝあるが今朝は外財市も別に變りなく事變の刺戟もなき事とて市場は冷靜をみせつゝあつて阪地の手筒きを入れて朝新三六圓九と三高大新九八圓四と八高鐘紡二八一圓四と四高日產新六九圓八と新附あと新東鐘紡共に採み合つたが後半新東二圓三と弱調を呈し朝新は再び買氣を刺戟して八圓丁と弁騰しあと七圓台に手固き採み合をみせつゝ推移し拓新三四圓七帝人新一二五圓五製鐵三一〇五とあり結局朝新三七圓四と五高大新九八圓七と三高新東一七一圓九と同事日產八七圓一と四安鐘紡二八〇圓九と五安に前場引

朝新に買氣

仕手がついたと云けれ又他場でも餘り法外の高利廻のまゝ放置されてゐる朝新は買ふべしとの聲もあつて昨から買はれたのであるが今朝は三八圓まで乘せた、朝東株も前期減配したとは云ふものゝ一割 [illegible] しないかと思ふから押目買一貫だらう

基調は良い

日支兩國間に和平氣分が出て來たとかで市場には樂觀氣分も出てゐるが之は一寸そんな空氣がありそうだと云ふに止まり蔣介石を徹底的にやつゝけなければこの事變は終末を告げるものではない國民政府との戰ではない第三國との戰であるから今頃から和平氣分などを出してゐたらとれる相場がとれなくなるそんな氣分も反映して相場はジリ〳〵と堅實な上向きをみせてゐる財界の基調は依然として堅調であり前途何等悲觀すべきものがないのであるから相場が堅調を辿るとは何等不思議とするに足りないのである增稅は既に相場に織込んでゐるのであつて今更ら之に驚く財界でもない寧ろ進んで公債引受けに出動すべきだとの覺悟は出來てゐるのであるからこの相場は賣れない相場と云ふの外ないてバラ買方も一齣にかけたやうであるから目先材料次第ではあるが一轉面白い場面を描く事になりは [illegible]

明治町覺書

▲主力株は再び堅調に轉じて來たくだらぬ事に驚いてマバラが投げて來たから相場の地合はよくなつたとも云へる▲和平氣分などがあると市場人は云つてゐるが今頃からそんな事に浮かれるやうな事があつたら非國民だ國民政府を木つ端微塵に叩き潰して抗日意識を清算させぬ以上▲また第三國をして日本の立場をよく認識せしめて支那から搾取の手を引かせぬ以上この事變はおさまらぬのだ和平氣分で相場を煽らうなどと緊張を弛めるやうな事があつたらそれこそ一大事だ▲主力株が何時も云ふやうに國力の反映なんだから主力株に手を出す時は確りして彈力をみせてゐるのは日本の國力を買ふ意識から出發しなければならぬそれが證券報國なんだ▲生保あたりでも非常に軍需株に注目して彌々買つてゐるやうな投資家として今が絶好の出動期である平和株も買つてよい人絹株などは相當利廻におかれてゐるからよいと思ふ▲山一が新春匆々理研 [illegible] の賣出しをやる工作をしてゐたところパンフレットをみただけお客の方から引つ張凧で [illegible]

本年の株式市場 活況を期待（3）
東株短期取引組合委員長　遠山元一

六分配をやつてゐるのであるから、まだ〳〵高利廻だ而も本年は株米共に波瀾萬丈を描くものと豫想されており殊に證券の流通性は國力の飛躍と共に一段と膨脹するのであるから出來高は增加の一途を辿るものとみてよい又米の方は日本の米界も又多事を極めるのであるから樂觀してよい他場としては朝新をせめて四〇圓から上においてきたいのであるから利廻訂正買と出てよい

なるほど革新政治が行はれゝばその方向によつては現在の資本主義に修正を加へられる危險があるかも知れない又統制が強化されゝばそれだけ自由經濟が制限されることは免れまい更に又稅制改革の結果增稅が課せられゝば產業界が沈衰するか知れないこう一途に考へ込むならば株式界の前途も悲觀せざるを得ないが、然し私としては悲觀をそこまで突き詰めて考へたくはないのである何となれば國防經濟といひ戰時經濟といひ之れ非常時中軍備、軍需品の確保の一線に沿ふて凡ての經濟を統一又は統制しようとするものであるが何も企業利潤を政府に取り上げて了はうといふのではない否な寧ろこれからの戰爭は特に軍備と經濟と思想の結合力に俟たねばならぬ以上戰爭を長く續けんとすればする程經濟力の充實が必要の度を增す譯でありそれだけに產業界を衰退させるやうな政策は採らるべきではないと思ふからである今後求めの軍事公債が續々發行されるに從つて通貨は益々膨脹し金融は緩漫の一途を辿り物價は前途增加生產不足のために諸般の統制管理にも拘らず不可避的に騰貴すべく然かも戰爭は恐らく戰爭終熄後に於いて漸次その度を加へこれにからうか之れを要するに十三年度につれて株式界にも所謂統制インフレ相場が展開されて行くのではな [illegible] の株券は戰後統制經濟や諸稅等所謂非常時政策に對する懸念もあることとて手放しの樂觀は許されぬが然し戰勝氣分なりインフレ景氣を背景として相當活躍を値するものと思ふのである（完）

國債 株式高に確り

【東京電話】金融緩慢が基調となつてゐるだけに押目買人氣が強くつてゐる前日引際早くも強化模樣となつた氣配更に株式高を入れて買氣強く甲號五厘高、第二五分利、四分利一、二十錢高、佛貨三四五十錢高と一齊に上伸した

東京國債 甲號五分一〇二、三〇▲第三、五分▲一回四分一〇二、一〇▲二回四分一〇二、一五▲二十三年物一〇二、[illegible]▲二十八年物▲佛貨四分一九六、九〇▲米五分半三六九、〇〇

期米
買氣更らに旺盛
三期共奔騰
東京高が目立つ

前場 昨後場株式高に買氣を喚り先限は遂に二圓關門を突破し十七錢と大引せる折柄今朝は更に阪地の上放れを受けて地方筋の買物八方から集中し當一圓六十九錢中一圓八十六錢先二圓二十五錢と前日の止値より八錢高に寄付いたが丸ナ米から採算すると優に引合ふて二の邊は採算の買物を呼びアトは二十二錢から連節伸悩み商狀に推移せしも押しは買はんとする人氣旺盛の折柄引際は阪地の手堅い商狀と相俟つて二十二錢から三十七錢と更に新高値へ吹き上げ附高値合みの商狀に前場を終了した

木浦から買付

木浦の相場と當所の相場と將來の鞘開きを狙ふて居た連中が木浦に於ける買方の態度強硬に依り鞘が容易に縮小しない事から丸仁米を渡來に提供すべく既に同地へ輸送せる米や何今後輸送する米の數量は約四萬石に達するもの如くである從つて木浦に於けるこの當限 [illegible] る狀態である

米界六感

本年の米市は何と云つても常時として買收高の如何や値頃關係に依り強弱を決めるのは大なる誤りで大局的に眼を注ぎ國家總動員に伴ふ判斷が必要であると共に日支事變の成行きや之れに對する物資の動向から云へば米價は何は高いと見るのが妥當である▲從つて相場の趨勢に於いても普通三百丁の押目を作る所を百丁內外で下げ止つたり又この邊目先天井と思ふてもそれを突破する事は止むを得ないから例令弱氣を持つにしてもその間の呼吸を計り遊く事に心がけねばならぬ▲殊に現今は一般米價共に人氣が一變し猫も杓子も押目買ひに一致せる際であるから其の買物を旨く消化する丈けの賣物が現れない限り相場は買氣 [illegible]

仁川正米市況

[illegible]

株式（八日）

朝取短期（前場）

銘柄	寄付	大引	高値	安値
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝取現定と日歩／朝取短期建玉表／大株短期／大株長期／東株長期／東株短期／東京現株／朝取仁川（前場）／大阪期米／東京期米／大阪期米協合／各地期米（前場）／商品（八日）／外電（八日）：[illegible]

蒲生三勇士（68）
一龍齋貞丈演　木俣茂爾畫

向島の助太刀

今しも安井彌九郎、越前屋の藏太郎の兩人が、堀の堤まで來りますと、『ヤア喧嘩だ〳〵喧嘩だア……』といふ罵か噪ぎ、バラ〳〵〳〵人が向ふへ駈けて行くから、何であらうと兩人も同じく其の人立のしてゐる所へ駈けて來て見ると、彼是十二三人の浪人體の武士が彼是十八か二十歳になりまする紺玉手を剣いたやうな綺麗な若侍と若黨體の男の周圍を取卷いて何れも大刀を引拔き、今にも切捨てんとしてゐる、彼の若侍は顏の色も變へず、是れまた大刀を引拔き、櫻の大木を後楯にして寄らば切らんと八方を睨んで身構へて居る、其の足許の所に若黨は腰を拔かしてブルブル震へてゐる、

彌『どうだ藏太郎殿、如何なる事情があるか知らんが、雙方武士ではないか、僅か一人に對して彼の通り十人からの者が掛つて居る、彼の若侍は顏の色も變へず平然として身構へて居るが、豪いものだな、其れに引變へて彼の若黨はどうだ、假令微祿たりとも武士の祿を食む者が白刃を見て腰を拔かして震へて居るとは見るに堪へない醜態者だ』

藏『さうでございますな、けれども安井さん、どんなにあのお若いお武士がお強いか知れませんが、長く戰いたら多勢に無勢で、遂には切られやアしまいかと思ひますが、どうでございませう』

彌『其れは何だな、何とも分らないな』

藏『分らないなと云つて役所に控いて在らつしやらないで、助太刀をして上げたらどうでございます』

彌『イヤ私も酒興してやらうといふ氣もないではないが、餘り早く飛び出すのも何だから、少し樣子を見て、若し危いやうなら出ようと思つて』

藏『其れア御道理でございますが看て居る者も心配して居りますから、早く助太刀をしてお上げなすつた方が宜しうございます』

彌『アヽ左樣か、然らばさう致さう、兎も角もお前さんは怪我をするといけないから、遠く離れて見て居なさいよ』

藏『宜しうございます、ちやア安井さん、確りおやんなさいよ』

彌『心得た、其處は心配するに及ばぬ』

バタ〳〵ッと其へ來て、群衆の人を、

彌『許せ〳〵』

と言ひながら拔けて出て、

彌『各方暫くッ』

といふと鋭い聲の同きを計つて居る其中へ飛込んだ、思はず雙方が鯉口を引いて、

○『コレッ何者だ、危ないではないか此の白刃の中へ』

彌『イヤ各々如何なる事情であるかは知らんが、各方は大勢にて僅か一人の此の若い武家を相手に向はれるといふのは近頃卑怯と思はれる、何は兎もあれ此の彌九郎の中にて、眞劍勝負は暫と穩かならんではないか、サア雙方共に劍をお引き下さい、酒興の上の爭ひなら此の場限り、又よくせきの慣みなら、後して勝負をなさる事もございます、どうか此場は此まゝ拙者にお任せ下さい』

◇『默れ〳〵默れ、何だ、一人の相手に大勢掛るは卑怯だと、卑怯であらうが御無禮であらうが貴樣達の知つた事ではない、眞劍勝負の其中へ譯も分らず飛び込むとは、命が要らぬ馬鹿者か、武士の禮儀を知らぬ虛者、傍杖喰つて怪我するな』

彌『ナニ、何と、命を知らぬ馬鹿者だとは無禮千萬、仲裁に入りし某へ對して、聞くに堪へざる惡口雜言、汝こそ武士の禮節を知らざる痴者なり、最早是れまでなり、拙者も武士の意地、靜かに聞かば知らざれども、只一人に大勢を相手にするはお氣の毒なれば、コレお若い衆、拙者義に依つて御身に助太刀致すゆゑ、心を安に持たれよ』

〔『忝う存ずる』

と彼の若侍大きに喜び、勇氣百倍致した樣子でございます

皇紀二千五百九十八年 昭和十三年一月九日 京城日報 日刊 第一萬八百三十三號
京城日報
朝刊
大擬迎春第一の御用意！
旅にも事務にもそれこそ便利 中のインキがよくわかる！
パイロット高級萬年筆
￥3.50以上
日本共立火災
保温 保冷 材料販賣 工事請負
京東 伊藤保温工場朝鮮出張所
京城府古市町四三番地
銘酒 富久娘
神苑に富久の香匂ふ朝ぼらけ
朝鮮みやげにツルチュク
万年筆からインキの出が悪い時はインキを代へて見て下さい 洗滌性のいゝワグナーを使つて見て下さい
インキ「ワグナー」
新萬葉集
全十巻 豫約募集
劃期的豪華版
内容見本進呈
改造社
新萬葉集の發刊を祝す
キユウワガ シンマンヨウシフハ マシヨウシフトトモニ コクミンノセイシヤウヲハツ キセルサイダイノブンガク ニテエイキユウフメツノカ チアリトシンズ
井上哲次郎
聽け!! 全日本の大唱和!! 備へよ!! 我等の「新萬葉集」!!
一人吟誦 萬戸諷詠 全國民の「新萬葉集」
全家庭に「新萬葉集」 日本國民の誇り!!
全國官衙・學校等より申込殺到!!
第一回配本開始 別巻 宮廷篇
御申込順により目下配本中
今上陛下御製 皇后陛下御歌 皇太后陛下御歌 英照皇太后御歌 昭憲皇太后御歌 大正天皇御製 皇族御歌 宮廷歌人の歌 明治以降新年勅題預選歌
堂々五百二十頁、未曾有の聖歌集!!
講談雜誌
二月號!! 四十錢!!
小町雨乞
吉原夜話
伏見直江恋ざんげ
戀愛急行列車
無軌道美人
心の貞操
源太の指
世界双六
謹賀新正
祈皇軍武運長久
朝鮮取引所仁川支店
支配人 平岡宇太郎
代理人 澁谷鐕
穀物檢查所仁川支所
朝鮮木材工業株式會社
仁川工場
仁川鐵工所
仁川水先案内組合
朝鮮海洋社
森信運輸株式會社
仁川公立中學校 職員一同
仁川角丸精米所
波佐間浩造
桑野健治
二瀨一二
仁川敷島貸座敷業組合
安岳穀物協會
金農場
黃海線自動車 安岳營業所
仁川府教育會
仁川稅務所
松永商店
三進商會
廣川齒科醫院
河野自轉車店
旭屋旅館
仁川汽船株式會社
仁川窯業株式會社
松島遊園會社
株式會社朝鮮取引所 米豆取引員組合
土師盛貞
東寶映畫株式會社 朝鮮配給所
京城西洋料理業組合
日の丸タクシー
京城府古市町四三

社説
物を大切に

煙草の銀紙を集めることは、早や全國を通じて常習化され、常識化されてゐる。それと同じやうに、古いペン先、齒磨の錫のチューブ、その他のもの、毛糸や毛織物の端切れ、紙片、金屑などを無興味に塵芥箱の中に棄てて去らずに、何等かの方法で保存蓄積することを習慣づけることが必要である。今や非常時といふことは、一億同胞一貫の認識であるが、この認識の上に一億同胞が共通に訓練さるべきこと、習慣づけられて宜しかるべきこと、新たに自覺して然るべきことなどが多々あるのであるが、かゝる時代にこそ、『物』に對する鄭重觀念を徹底するとは、所謂國民精神總動員の具體化そのものであると同時に、將來に對して支那事變そのものに對する偉大なる記念物である。國民によき慣習を植付けるといふことは、困難なることには相違ないが、それが如何に偉大なる效果を將來に遺すものであるかといふことについては、今さらこゝに喋々するの要はない。

×

海上生活を營むものは、その制限されたる物資を以て、由來すだけ永く海上に留まり得る訓練を必要とする。そのためには、一片の紙でも、一寸の糸切れでも、一勺の水でも、一握の砂でも、これを鄭重に取扱はねばならぬ。この心がけと、この訓練こそは、『物』に對する貴重なる觀念に徹底せしめるものである。此のことを知るものは、非常時局に處する國民こそ、この海上生活に髣髴たるもののあることを痛感するであらう。一方には大きな消費があり、一方には制限されたる物資が存在するといふ場合に、國民がこの制限されたる物資に對して、如何にこれを有效に活用するかといふことを考ふると同時に、如何にこれを節約保持して行くかといふことを考へなければならぬ。而して、之は當面に於て不自由を感ずることはいふまでもないが、これに習慣づけられ、また、物の活用といふことに訓練づけられるに於ては、それが生活慣習となり切つてしまつて、何等不自由も不便も感じなくなるに相違ない。

×

即ち、生活慣習となり切るまで此の訓練と慣習とを徹底することが必要なのである。ペン先の一本を節したり、古ペン先を保存するといふことは、一見些細なことのやうではあるけれども、一億同胞が一體一心となつて、その節約保存を實行する場合、その總額高が如何に大きなるものとなるかはこゝに一言するの必要はあるまい、安全剃刀の古刃を捨てるのは、何人も何となく惜しいやうな氣がするであらうが、その心持ちを一寸の毛糸切れにも、小さな紙片の上にも持ちつゞけて行きたいものである。繰返して言ふ、煙草の銀紙を集めることが、生活慣習化したといつてもよいやうな昨今、その心持ちと用意とをあらゆる『物』の上に作用せしめて行きたい。而して此の心持ちに徹底する時、金や白金の貴さが、ますく國民の胸に響いて來るに相違ない。

時局座談會
【5】

支那民心の轉向
その具體的工作如何

支那は徹底的に叩くべし

出席者（いろは順）

- 民政黨顧問　富田幸次郎氏
- 前關東局長官　吉田茂氏
- 陸軍中將　建川美次氏
- 十河信二氏
- 法學博士　下村宏氏
- 【本社側】御手洗副社長及び東京支局記者

——十二月卅日・東京新喜亭に於いて——

昭和十三年の日本

官民一致協力以つて更新の努力切望
【中】
農林局長　湯村辰二郎

非常時局に對處
【下】
内務局長　大竹十郎

私鐵買收線延べで咸北線改修に支障
朝鐵當局では樂觀

皇軍慰問金
本社取次

- 五百圓　京城府本町二丁目 株式會社平田百貨店
- 十九圓七十錢　黃海道安岳郡大遠面 株式會社大林農場
- 十三圓　黃海道安岳郡大遠面第四農區小作人一同
- 十圓六十八錢　株式會社大林農場 小島幹晉
- 　　黃海道安岳郡大遠面 株式會社大林農場第一農區 三成會堂 職員兒童一同
- 十一圓　江原道三陟郡近德公立普通學校 十個學園兒童一同
- 五圓　忠北陰川郡長湖公立普通學校 附設三龍簡易學校兒童一同
- 日計金五百五十九圓三十八錢也
- 累計金七萬二千三百八十九圓十六錢也

防空器材獻納

- 五十一圓二十錢　黃海道安岳郡大遠面株式會社大林農場第四農區小作人一同
- 十圓　京城府新町四ノ九　松野幸治
- 十圓　京城府蛤町九一　岩瀨九市
- 二十六圓　朝鮮總督府水利課職員一同
- 十圓五十錢
- 三圓　京畿道高陽郡崇仁面下月谷里青年團一同
- 　　京城永登浦町東洋紡績株式會社京城工場職工洪士鳳
- 日計金三十九圓五十錢
- 累計金四萬三千五百二十四圓四十七錢也
- 總計金十一萬五千九百十三圓六十三錢也

コドモページ

兎も戰場の勇士
立派な國防資源です
飛行將校の服となる

長い耳に赤い眼々、あのやさしい兎さんが戰場の第一線に立ち働いてゐると聞いたらちよつと不思議に思ふかも知れませんが兎は國防上非常に大事なものです。

×　×

何も馬や軍用犬のやうに直接戰地をかけづり廻るのではなく、眞白くて柔くてして温かいあの毛皮が空飛ぶ勇士の身を包み、又敵陣に斬り込む勇士の體をしつかと守つてゐるのです、もうおわかりでせう兎は兵隊さんの大事な服となるのです

×　×

今度の事變で勇名を轟かせた南京や上海空襲のわが飛行將校達はみんな兎の飛行服を着てゐます、又極寒の北支に頑る土を踏みしめて活躍してゐる兵隊さんの防寒服にも兎の毛が澤山使はれてゐます、このやうに一頭の愛らしい兎が國防資源として重要であることが今度の事變以來いよいよ認識されるやうになつて來ましたので、お上では國策的に養兎を奬勵するやうになり、内地の農村でも副業としてぼつぼつ兎を飼ひはじめてゐるとのことです

×　×

現在日本全國には約五百萬頭の兎がゐると計算されてゐますが、これだけでは大がかりの戰爭にはまだ不足です、兎は毛がとれるばかりでなく肉もおいしいので戰時食料としても重要なものです、非常に科學が發達し食糧問題も組織的によく行つてゐた獨逸ですら歐洲大戰の時は食糧の缺乏にとても困つたのですから魚類の豐富なわが國でも、かうした小動物を常備しておく事は必要あることです

×　×

兎は非常によく繁殖し一番の兎から一年間に三百頭にまで殖えた事實があるのですから、農村の副業として有望なばかりでなく三頭の親兎がをれば一反歩の田畑を耕す肥料もとれるのですから、農村の少年達は銃後の仕事としてこれから兎飼はいかがなものでせう

"戰線の兄さん達へ"
贈る血染の日章旗
普通學校生徒にもこの愛國熱

全南光山郡警察官駐在所に普通學校の生徒らしい字で手紙と血染した日章旗三枚が送られて來ましたが名前が書いてないので差出人は誰かわからないのですが、之を『皇軍に送つて下さい』とあり、同駐在所では感激し直ちに軍當局へ献納の手續きを執りましたが中には『拜啓日支事變の兄さん達へ』として次の如く書いてあります

あゝ勇ましい兄さん達我々一億近くの國民の爲めに遠く支那の廣地に第一線に立たれ酷烈な敵と戰ひつゝ弾丸雨飛の間をくゞり、嚴寒に防備に戰闘に奮鬪をつゞけられることは新聞や雜誌でよく承知してゐます、勇ましい兄さん達！御奮鬪の御蔭で我々一億が出されるであります

立派な帝國軍人の兄さん達ゞ苦しい事もありませう、又敬仰せられた上官や戰友を失はれてお嘆きになつた事もありませう　皆是君國のお爲　延いては我々同胞一億の爲めであります　本事變勃發以來普通學生に至るまで、時局兼務を集めてゐます　兄さん達の後には我々同胞一億の民草がついてゐます、兄さん達の體内にも私共一少年の體内にも同じ帝國の血が流れてゐます私共も僅かの勉強して兄さん達の後を受けて立派な第二國民たらん事を同じく決心してゐる次第であります、兄さん達の御健康を祈り國家の爲益々御奮鬪あらせられん事をお願ひ致します、之れを以て感謝の意を表します（原文のまゝ）

みんなびつくり
不思議な奇術
あなたにだけ種明し

お正月のことですから、理科應用のいろいろの奇術種明しをいたしませう、皆さんのお友達を大いに驚かしておあげなさい

ハガキの中をくぐり拔ける

おはがきを一枚取出しましてさて『これをどんなに切つてもよいから、工夫して切つて、身體の拔ける位の穴を明けて下さい』といふのが、この不思議な問題です　斷つておきますが、細い紙片に切りはなして糊で繼ぎ合はせるなどといふいい加減なやり方ではありません　鋏を入れても、一枚の端書がバラバラにならずにちやんとつながつてゐなくてはなりません――これが、不思議な奇術の難問の所ですが、お友達は種々と考へて見る事でせうが、容易にはなかなか切り方は思ひつかないものです、そこであなたは、圖に示すやうに見せながら鋏を入れてごらんなさい、きつと皆さんはあなたの器用なのに驚くこと間違ひありません

マッチ箱の奇術

マッチ箱を引出しますと、中から南京豆が飛び出し、一度しまつて叩き、エイッと掛聲をかけてから、再び引出して見ますと、どうでせう、今まで確に南京豆だつたのが立所に變つてゐるではありませんか

種明し……こんな奇妙な手品には、それに相當する準備が必ずいりますといつてそんなにむづかしいものではありません、まづ、中箱の底の片方を押破つて、反對側の様に糊で固定します、すると圖形の空所が左右上下に各一つ宛出來るわけですそこで兩方にそれぞれ一見違ふ品を入れておけばよいのです

引出して見せる時は、半分程開いて、觀客にあらためさせるのは無論ですが、豫め、表レッテルと同様な圖案のものを他のマッチから引はがして、兩面全く同様のを貼つておくとを忘れてはいけません　一度しまつて殻違つたのを出して見せる要領は、手早く裏返すことでこれが秘訣です

銅貨の宿替へ

自分の手の中にあつた銅貨が一枚立所に遠く離しておいてある林檎の中に飛びうつるといふ奇術ですそんな馬鹿らしい事が出來るものかと思ふでせうがそこが奇術です

種明し――使ふ銅貨は、觀客の誰かに借りるといゝと思ひます、そこで先づ林檎ですが、前以て皮を注意深く※形を入れて、中身に銅貨を一枚押込んで表を見破られないやうに元通り皮を當てゝおきます、それから演者の近くの卓上に、それを据ゑ、借りた銅貨を手中でもみ拜む眞似をしてゐる間に、掌を自分の方に向けた拍子に（觀客に見えない様に）掌から腕の內側を滑らして袖口の中へ流しこまして隱してしまひます　氣合をかけるか、呪文を唱へてから、ナイフで林檎をたち割つて中から銅貨を取り出して見せ、さも今借りたのが、移つたのだといひふくめてしまふのです、之に似た奇術は本當の奇術師もよくやります

智慧くらべの銀貨

マッチの軸を一本、これを半分に折り曲げ、その上に十錢白銅を載せて、牛乳壜の上に載せて下さい　さて、この銀貨を手をふれず、息を吹きかけず、動かすことなく壜の中に落す事が出來ますか？から開かれるとお友達は、全く手の出しやうがなく、困つてしまふに違ひありません、誰も出來ないと見極めてから、指先に水を一滴つけてマッチ軸の折目の部分を濕してごらんなさい　マッチは水を吸つて、眞直にならうと動き初め出し、見てゐる間に載せてあつた銀貨がツルリと外れて落ちてしまひます

一流爭覇戰譜

第五局　平手　△六段　山北孫三郎　先　▲六段　寺田梅吉

（圖は前回△六三金迄の局面）

▲三七桂 7　△七三桂 4　▲二八飛 12　△三三桂 5　▲二五桂 4　△同　桂　▲同　飛　△四二金 6　▲八三桂 20　△九三香 B　▲九一桂成　△七五歩 19　▲同　飛 3　△五五桂 3

△持駒　山北氏　角歩歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	v香	v桂						v桂	v香
二		v飛					v王	v銀	
三				v金	v銀	v金		v歩	
四	v歩		v歩	v歩	v歩	v歩	v歩		v歩
五									
六	歩		歩	歩	歩	歩	歩	飛	歩
七		歩	桂	金	銀				
八		銀	玉		金				
九	香							桂	香

▲持駒　寺田氏　角

（持時間各九時間）　累計（山北氏　二時間五十七分　寺田氏　三時間二十一分）

觀戰記　六段　飯塚勘一郎

銳い奇手五五桂
寺田氏シビレを切らす

前回先手方の八六歩が大惡手であつた爲め、歩切れを生じて寺田氏はいよいよ攻勢困難の局面に陷つた、これに反し山北氏は味方の一歩得の優勢局面に、急かず騒がず殘更露宿き捌つて、七三桂と悠々たる態度だ、先手方郭哉に到つては、如何に攻めたくても、攻め得られない立場に置かれてゐるので敵の模様を窺ふ意味に、手待ちの二八飛でその應手を計る　その時後手の三三桂は敵が手段に窮するを看破して、凝ッとその無理攻めを待ち、然る後強い逆襲に轉せんとする手段で倔戰になれば、そろそろ猛牛の眞價を發揮せんとする山北氏の底意である、されば、と云つて先手も此上の手待ちは無用、と斷然二五桂、同桂、同飛と桂銀の交換に出て、後手の四二金には八三桂と猛烈な、職鬪の火蓋を切つた、これは流石に辛抱強い寺田氏も、敵の落着き拂つた態度にシビレを切らした形で、逡巡しては歩損の爲め自然の敗北となるを惧れた結果であらう　後手九三香は絕對、これを八三同飛では七二角で忽ち逆轉する　綱渡て先手九一桂成　後手七五歩の時、寺田氏がこれを七五同飛と拂つたは、敵に五五桂と打たれ、例へ飛を奪はれても、五四歩の取込みで、相當指し得ると讀んだ結果ではあらう、此處を穩かに同歩と應じてはその折り後手七六歩、同香、八四桂、八六香、八五歩、同桂なら同桂、同金、七六桂で面白くない

お正月子供川柳

年頭之辭

江原道知事　金　時　權

非常時の眞只中に[illegible]茲に昭和十三年の新春を迎へ道内百六十萬の道民と共に謹みて　聖壽の萬歳を壽き奉り皇室の隆昌と皇軍の武運長久を祈り併て戰病死者の英靈に對し哀悼の意を表する次第であります

顧みますれば去年七月七日北支盧溝橋の一角に突發せる不祥の事件は今日の戰況から省て實に支那の計畫的抗日の先端であつた事が明かで當時我が國の現地解決不擴大の誠意は到底容るゝ所でなく挑戰的軍事行動も其の因て來る處實に根深いものゝある事が想察されて今回の事變も或る意味より見て東洋永遠の平和の爲に已むを得ざる天與の機會とも考へられ事變は愈々擴大して支那全土に及び支那膺懲の聖戰となつたのであります

事變勃發以來半歳出征將士よく艱々たる攻撃と流血頑粘の惡氣とに耐へ忠誠勇猛果敢なる活動により連戰連捷今や北支に於ける舊政權は全く潰滅せられ眞に民衆の謳歌を念とする自治政治の樹立の機運に到り之が支援を皇軍に仰がんとするの情勢にあり南支に在りては難攻不落と誇りし上海の攻略は引き續き重要都市を席卷し旗幟一日には南京城頭に日章旗の高揚せられました事は皇國の爲慶祝すると共に支那一般民衆の幸福の爲にも誠に慶すべき盛事であつて併て東洋平和の基礎確立の一新紀元を劃せるものと見做され眞に我が國肇國の大理想の宏謨が今日東亞の中央部に愈々具現せられた感がいたしこの聖業に直面して眞に我が國は神國なりの感激に浸り一層銃後の赤誠報國に努力を盡さねばならぬ秋であると信ずるのであります

茲に於て銃後の御互は新春の劈頭に更に一段と覺悟を新にし出征將士の陣中の苦戰と同じ思ひに浸り畏くも聖斷下の御訓示の御趣旨を體し國體觀念を明徵にし堅忍持久各自生業報國の一途に精進し國民挙つて些の間然する處なく產業開發經濟力の培養に努め今後事變の關聯を最惡の場地に置き毅然として動かない資源の準備と心構へに周到なる用意をなす事は特に緊要の任務と信じます

殊に戰時體制下に於ける半島の立場を考察するに國防上極めて重要なる地域にあり產業及經濟上兵站基地たる地位を擔當して居る事を痛感し特に本道は銃後の覺悟として豐富なる資源を開發し生業報國と共に消費節約を實行しなければならぬと思ふ次第であります

消費節約に關しては國民各自の心掛如何が國家經濟に至大なる影響を及ぼす事の眞の理解を圖り特に婦女子の家庭生活に特段の留意を要望いたし戰時體制下の一國民として公私生活に細心の注意を拂ひ以て緊張改善を圖り消費節約に努め所謂生產消費の兩方面より經濟力の培養充實を圖り皇國の理想に寄與せん事を切望して已まない所であります

翻て本道銃後の農山漁村の狀況を詳察するに農村振興運動創始せられて以來茲に五星霜を閱し指導部落千五百餘戸數二萬八千八百餘戸の多きに及び今や第一次更生部落に於ては所期の目的に到達し實行年限滿了後官邊の指導を待たず自主共勵に移行し得べき部落七割以上に達せんとする情勢に至れるは誠に同慶に堪へない所であります然れども之を全般的に眺むる時は既往の實績は漸く試驗期を經たるに過ぎず寧ろ今後の活動に俟つものの大なるのあるを[illegible]所であります

由來本道に於て專ら獎勵し來りたる畜產に在りては飼料の豐富農家の餘力其の他畜產經營上極めて[illegible]事業に富み家畜增殖の餘由は將々たるものがありますのみならず一面本道の畜產の狀況を考へますと之が有畜化を計るは本道資源開發竝農村更生の何れより見ましても刻下の急務であります殊に畜牛は農耕勞力の充實自給肥料の增產肥育牛の育成皮骨の加工等の見地より農業の改良發達農家經濟の向上進步に畜牛の普遍化を措て他なしといふも過言でないと信ずるものであります依つて本道に致しましては將來農家一戸一頭以上の畜牛を所有の上飼育さすべきことを道の方針として先づ更生部落内の無畜[illegible]除に努めて居るのであります

加之に最近内地のみならず滿洲國に於て畜牛の需要旺盛を極め本道產牛多數を輸移出することになりました關係上更に一段の改良增殖計畫を樹て江原道牛の特質發揮に努力致したいと存ずる次第であります

尙昭和十年より獎勵いたしたる緬羊の飼育に就ては[illegible]官民一致の努力に依り極めて順調なる進步を辿りつつあるは甚だ意を強くする所でありまするが今後一層之が獎勵に努め所期の成績を收めたいと存じます

農家の副業たる養蠶業の情勢は前年來の糸價昂騰の影響を受け養蠶農家の之が恩澤に浴したる金額は實に百七十二萬圓に上り共同販賣取引額五十萬貫に垂とする盛況を示したるは欣快に堪へない所であります然れども經營上仔細に考察すれば何桑田の肥培管理に一段の意を拂ふと共に桑田擴張に關しては特に明十三年以降五ケ年間系統的に增殖計畫を實施し斯界の進展を期する次第であります

本道林業は山岳地帶に於ては氣候地味共にパルプの原料として優れたる落葉松の生育に適し且適地廣大なるを以て企業林業として落葉松の增殖に對して積極的助成を行ひ今後少くとも年々三十萬尺メの生產を圖り以て本邦纖維工業の發達に伴ひ資材の需要に應ずるの計畫を樹立せんとする次第であります

山岳地帶以外の地に於てはポプラを主とする速成樹の增殖を圖り過去五ケ年の普及の實績二千八百餘萬本の植栽に鑑み用材の利用と共に休閑荒蕪地の利用を圖り今後五ケ年之が增殖の計畫により積極的助成を爲し以て產村の振興を圖らんとする所であります

東海岸一帶を中心とする本道の水產に於ては年產額に二千五百萬圓を算するに至り躍進江原道の代表的產業として社會の注目を惹く様になりました其の間幾多の困難に遭遇いたしましたが當局の指導助成と當業者各位の段殿なる活躍と相俟つて漁業界相當の活氣を呈し小漁村に至るまで生業報國の意氣に燃へつゝあるは誠に喜ぶべき現象であります

然れども當因常ならざる斯界の特異性に鑑み投機的經營を戒め合理的にして然も健實なる企劃のもとに秩序ある統制を圖り一段團結斯業の進展に努め以て漁村の振興を期したいと存ずるのであります

本道に於ける鑛業は主として金銀鑛にして其の年產額五百餘萬圓に達して居りますが從來交通運輸の機關不備の爲既存鑛區七百三十餘を算するも其の大半は事業未着手又は休業中でありましたが輓近三陟越方面の無煙炭田の開發と時局の進展に伴ふ重要鑛物關係上一般に鑛業熱勃興し開拓の機運に向ひつつありますので此の機に於て地下資源の所在を詳にし朝鮮に於ける資源供給に寄與すると共に國策に順應する治道の實績擧揚に努めたいと存ずる次第であります

此の外道内各地に極めて饒多なる資源を內藏せられ開發の工夫と努力の如何に依つては更に大に國に經濟の振興に貢獻し得るのみならす軍事關係にも重要なる負荷すべき可能力あるを痛感し本道開發に一段の意を拂ひ去る十月本道資源開發に關し部內に於ける斯界の專門家竝に權威者各位に委員を依囑し審議を願ひました處委員各位の熱心なる御努力に依り所期以上の效果を與へられ道政上多大の參考となりました事は望外の幸にして委員各位に對し深甚の謝意を表した次第であります

由來本道は資源を內藏しながら敢て顧みられざりしは一は時機の到らざりしに依るものと一は交通運輸の便に惠まれなかつた結果に依る點が多分にありましたが幸に京元中央兩局線の促進京春三陟の兩鐵道の起工乃至は京慶線道の本道通過等の企劃せられました事は全く天與の機會でありまして現員に本道鑛業界に於ては一段の活氣を見るに至りましたのみならず工業界亦急速の進展を見電氣事業と共に工場會社の建設を見るに至りましたが向は眞に交通運輸の關係に困る所大なりと信じます

然れども之が完備は今後に期待し[illegible]のなければならないので現下の情勢に鑑み先づ道路網を完備し各鐵道の培養線たらしめたいと共に各地の連絡物資の運輸の圓滑を期するは最も緊要と考へ年末に於て道路品評會を開催し道路の整備を圖ると共に道民一般に向つて各地方的に道路愛護の思想涵養に努めた次第であります

年頭に當り時局の眞相を凝視し所感の一端を述べた次第でありますが要するに身命を捧げて陣中に猛進せらるる將士の勞苦に對し衷心より感謝の意を表し銃後國民の心掛に於て缺くる處なく擧國協力の下に天業恢弘の國是遂行を祈念しお互に砥礪これ努め以て　聖旨に副ひ奉りたいと存するのであります

年頭所感

江原道會副議長　山中友太郎

光輝ある昭和十三年の新春を迎へ謹みて皇室の御繁榮を祝し奉り武運赫々たる皇軍の戰捷を祝しつゝ茲に年頭の所感を述へるは私の最も欣幸とする所であります

暴支膺懲東洋平和確立の爲に正義の戰端を開きまして以來既に五ケ月擧國一致の體制の下に吾等道民は皇國臣民の精神を遵奉し至誠奉公生業報國の務めに從ひ只管其の本業にいそしみつゝ皇軍[illegible]新念しましたる結果早くも北支五省は云ふに及はす首都南京を陷れ敵の死命を制したるにも不拘頑冥不遜なる國民政府要人等は地方政權に墮しながらも或は蘇聯の走狗となり或は英米の援助を求め戰禍の擴大に狂奔し帝國終局の目的達成の日は仍ほ遼遠なるを覺悟せざる可からざる狀態である事は東洋平和の爲に誠に痛嘆に堪へさる次第であります

斯の時に方りまして倶に帝國臣民の一員たる吾等道民は光輝ある此の年頭に際し更に新なる勇氣を培ひ時局に對する認識を改め益々高らかに皇國臣民の誓詞を齊唱すると共に先般本道廳に於て開催致されましたる江原道產業開發委員會の成案に基き飛躍的生業報國の事實を顯現し官民一致恰も本年の干支たる猛虎の如く銃後の守りに勇往邁進せむ事を衷心より希望致します次第であります

更に一段研鑽努力を初頭に際し道會議員に切望す

春川支局長　水　口　生

江原道は由來地理的に惠まれなかつた關係上その道勢は歷代當局のせつ角苦心努力を拂つたにも拘らず他道の急速なる進展に比し遲々として進まず稍つさへ、あ[illegible]道を知ると知らざるとを問はず、あゝ、江原道かと、一種のイデオロギーによつて、あつさり片附けられてゐた、恐らく道の役人すらが、その感をどうすることも出來なかつたであらう

然るに今は京城土木協會長で當時江原道內務部長だつた伊藤さんによつて『眠れる獅子』の形容が附され、感銘茲に數次、其後の道勢は、どうやらどうやら眠れる獅子の目醒めにも似、天の時到ると共に地上地の利、而の幸、加ふるに無盡藏を傳へる地下の資源は最近に至つて俄然開拓の機運に惠まれ稍つさへ、奮迅せる獅子の氣勢はまさに、躍進江原道時代を現出せんとして居る

即ち東海北部線の延長と共に京春中央、三陟鐵道の新設等は江原道をして飽上、光輝ある黎明の彼方へ指して轉換せしめつゝあり、更に又、山地の資源を巡つて本道を縱横斷する謂ふ產業鐵道の實施も必至であるべく、近く交通の整備に伴ひ鑛藏、三陟炭田を始め道內至所に見られざるなき各種地下鑛物、及び地上農山漁村を通する農、林、水產業の飛躍的增殖も促進滑達自ら至り又、教育に衛生にさては、金融、經濟、文化商工の發達は一方道民の精神を振作向上せしめる所以であり彼此以てその前途こそは遙かに先進他道を凌駕して文字通りの燦然たらざるなきを豫想し得られるであらう

しかしながら元々他道に比較し謂ふる立遲れの憾あり、漸くその緒に着いたばかりの本道とて、今後要施設經營すべき事柄は幾多山積して盡くなく、一方これを非常時經濟的に觀るも工業原料の產地として多大の題目を有し且つ動力位勞力等の低減の點に於て工業企畫に適應の勢地を有して居り、國家的見地よりするも、前途飽上多事多努なるべきであるが、隨つてその反面には實に百六十萬道民を打つて一丸となし、更に〳〵堅忍持久以て內には道勢の進展に寄與し外に於ては、普ねく邪系膺懲、强兵の銃後の實務を果さねばならぬ譯である

とりわけ道民を代表し百六十萬道民のよき代辯者にして又代行者たる道會議員たるもの、光榮たる、今更贅言を要しないと共にその責任の重且大なる、又申す迄もない現在の道會議員は前年自治制布かれて第二回目の改選に於て官選に於ては道當局の賢明公正なる選任により、又道制第七條により當選せる議員はいづれも地方における一粒選り拔けの劃期的で加ふるにその年齡に於て總體的に從來の型を破つて何れも小壯有爲又人物に付て見るも元氣潑剌且つ明朗――まさに躍進途上の道勢を荷ふて起つにふさわしく、殊に斷然道議不要の一部に於ても進步の跡顯著たり仍つて以て百六十萬道民の期待する切なるものがある

道會議員各位におかれても宜敷忠ひを茲に致し更に一だんの研鑽と努力を惜むことなく、益々道勢の進展向上に寄與せられん事を期望してやます

定員卅一名中鐵原郡金錫玉氏に代り李德一氏が補闕當選されたるは喜ぶべきとし、なほ二名を揭載見合せした段惡からず御諒承を乞ふ次第とす

寫眞せつめい

前列右より宋奎煥氏、劉載厚氏、崔準集氏、小宮山八郎氏、朴普陽氏、金知事、山中友太郎氏、和氣孫吉氏、金基玉氏、洪鍾國參與官、金錫玉氏「辭任」二列右より丁殷燮氏、大塚源七氏、黃禮坤氏、李鍾爽氏、申永淳氏、一人置いて、金永濟氏、朴忠模氏、鹽田內務部長、山村警察部長、劉明順氏、李潤植氏、三列右より張俊英氏、崔駿鏞氏、睦舜均氏、高德柱氏、田夏富氏、井手[illegible]氏、三浦土木課長、稻葉豊次郎氏、崔龍富氏、尾崎地方課長、[illegible]列右より朴河龍氏、[illegible]氏、沈龍洙氏

妻（つま）

小島政二郎作　宮田重雄繪　【145】

夫婦ならぬ夫婦（二）

櫻井は、別に悪い遊びをする樣子もなく、五十圓づつ入れて置くやうにしてゐる小遣が、相當永い間蟇口の中に殘つてゐた。

『あら——』

京都へ來てから半月程した或晩、玄關へ迎へに出た鈴子は、つひぞ嗅いだことのない酒氣をプーンと感じて、ビックリして彼の顏を見直したことがあつた。

『醉ひますか。』

櫻井は、羞かしさうな初々しい表情を浮べて、ニッコリ笑つて見せた。

『これまであなた御酒召し上らなかつたんぢやないの?』

『フ、フー。あなたがそんな悲しさうな顔をするなら、止めようかな。』

姉に叱られた弟かなどのやうに櫻井は伏目になりながらさう云つたが、すぐまた言譯するやうに、

『しかし、京都の夜は淋しいんでね。酒でも飲まずにはゐられないや。』

それもさうかと鈴子は思はない譯に行かなかつた。しかし、

『でも、あんまり召し上らない方がいいわ。』

鈴子は遠慮勝ちにさう云つた。

考へて見れば、何の樂しみもない櫻井の生活だつた。

彼の生活は、仕事以外は、すべて彼女に犠牲になつてゐるやうな生活だつた。

鈴子が撮影に急がしくつて、櫻井の體が逆に明いてゐる時など、撮影を濟まして歸つて來て見ると櫻井はよく部屋の眞中に寢そべつて新聞を讀んでゐた。

『御免なさい。』

聞かなくとも、まだ食事をしてゐないことは一目見て分つた。

『いいよ、いいよ。疲れてゐるのに、御飯拵へなんかしなくつても——。何か取らうよ。』

彼は起き上つて來て、エプロンを手に通さうとしてゐる鈴子を押し留めた。

『さうお。でも、今夜はあなたの好きなものを拵へようと思つてその仕度がしてあるのよ。』

『フーム、何?』

『天麩羅——詰らないのよ、ちやんと仕度して置くやうに、小母やんにさう云つといたんだから。』

『いや、揚げて貰ふかな。』

『ええ。すぐよ。』

鈴子は濟まないと思へば思ふ程、全力を盡して日常生活を樂しくしようと心掛けた。

どんな犠牲を拂いても、日々の生活の一分間でも彼を淋しがらせることを忘れては申譯ないと思つてゐた。

事實、櫻井は、この夫婦ならぬ夫婦生活が、日も夜もなく樂しかつた。幸福だつた。

しかし、樂しければ樂しい程、幸福なれば幸福な程、彼は苦しかつた。寂しかつた。鈴子をわが妻にしたい思ひが胸に燃えた。

京日特選棋譜（8）

先番 八段 雁金準一
先相 八段 高部道平

長期對抗戰　覆面道人

上面無風狀態

黑五十一より白六十まで

RADIO

九日（日）第一放送

午前六時五五分　ニュース
同八時一〇分　今日の天氣見込
同八時二〇分（城）氣象通報
同九時三〇分（東）合唱　JOAK唱歌隊
朝外十二題　ピアノ伴奏 俵 寛代子　指揮 青原 規
同一〇時（京）皇紀宮部（?）
同一〇時四〇分（大）
同一一時一〇分（大）
同一一時二〇分（東）
正午（東）時報
午後零時二〇分　ニュース
同一時
同一時二〇分（大）
同二時（大）俗曲
同二時二〇分（城）
同二時三五分（城）
同三時（東）漫談

ラヂオ・ミュージカル・ドラマ
"凱歌"　堀 正旗・作　八・五五

漫談　新宅　井口静波　3.00

十日（月）